



# 性教育に携わる 養護教諭などのための 性の健康について

咲江レディスクリニック  
丹羽咲江



- **中部地方の中高生や少年院  
の子どもたちへの性教育**
- **児童相談所やシェルターに  
いる子どもたちの診察**
- **愛知・思春期研究科共同代  
表**

# (1) 性感染症の現状

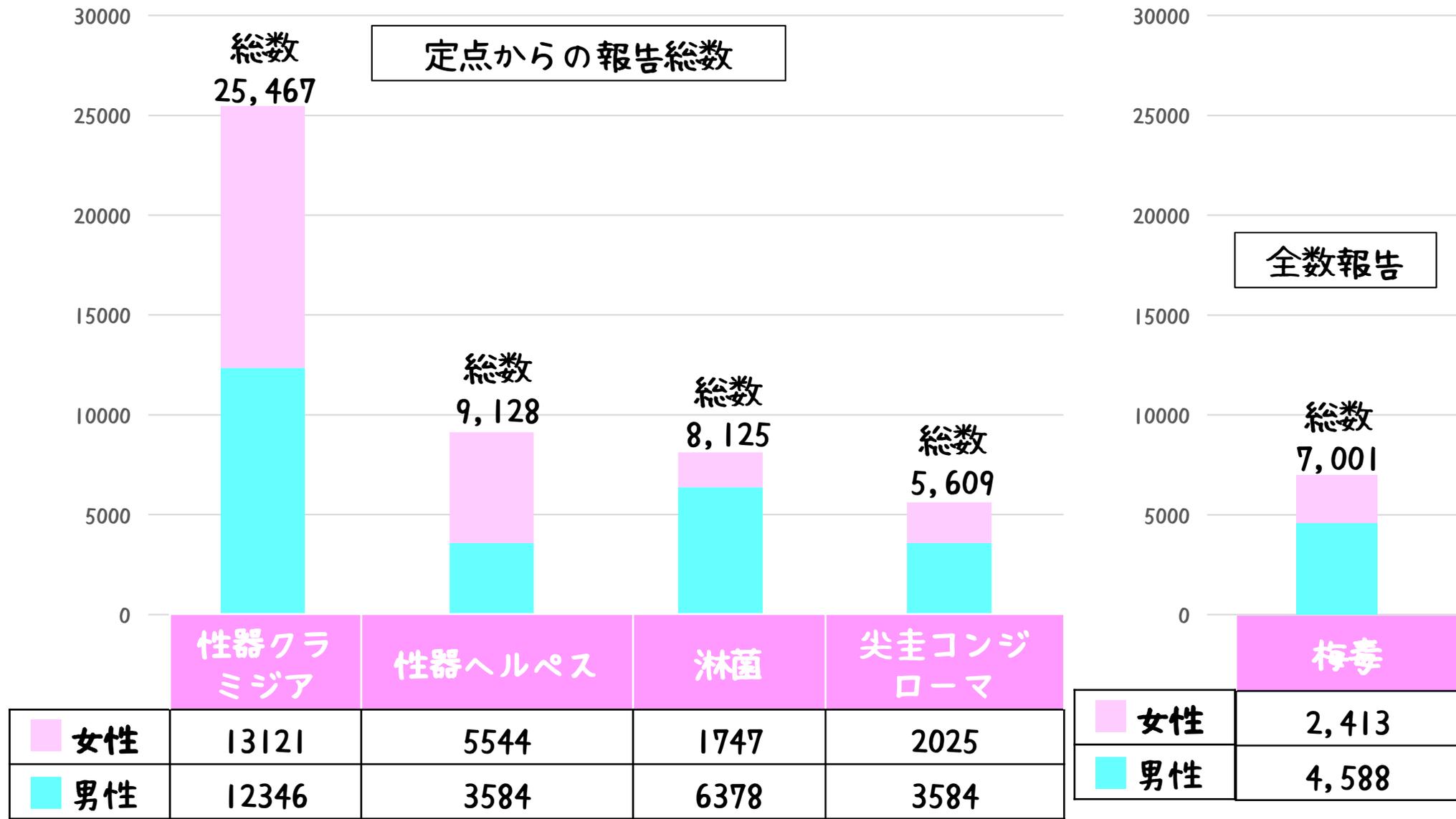


- **性器クラミジア**
- **淋病**
- **性器ヘルペス**
- **尖圭コンジローマ**
- **梅毒**

**どんな順番で多いと思いますか？**

# 2018年 性感染症定点疾患及び梅毒の報告数

(梅毒のみ全数報告)



資料: 厚生労働省「性感染症報告数の年次推移」2018年

# 定点報告と全数報告の違い

## ●定点報告

全ての医療機関から選ばれた指定届出機関(定点医療機関)からのみの報告。定点報告数を定点数で割った数である。つまり、報告平均数になる。

## ●全数報告

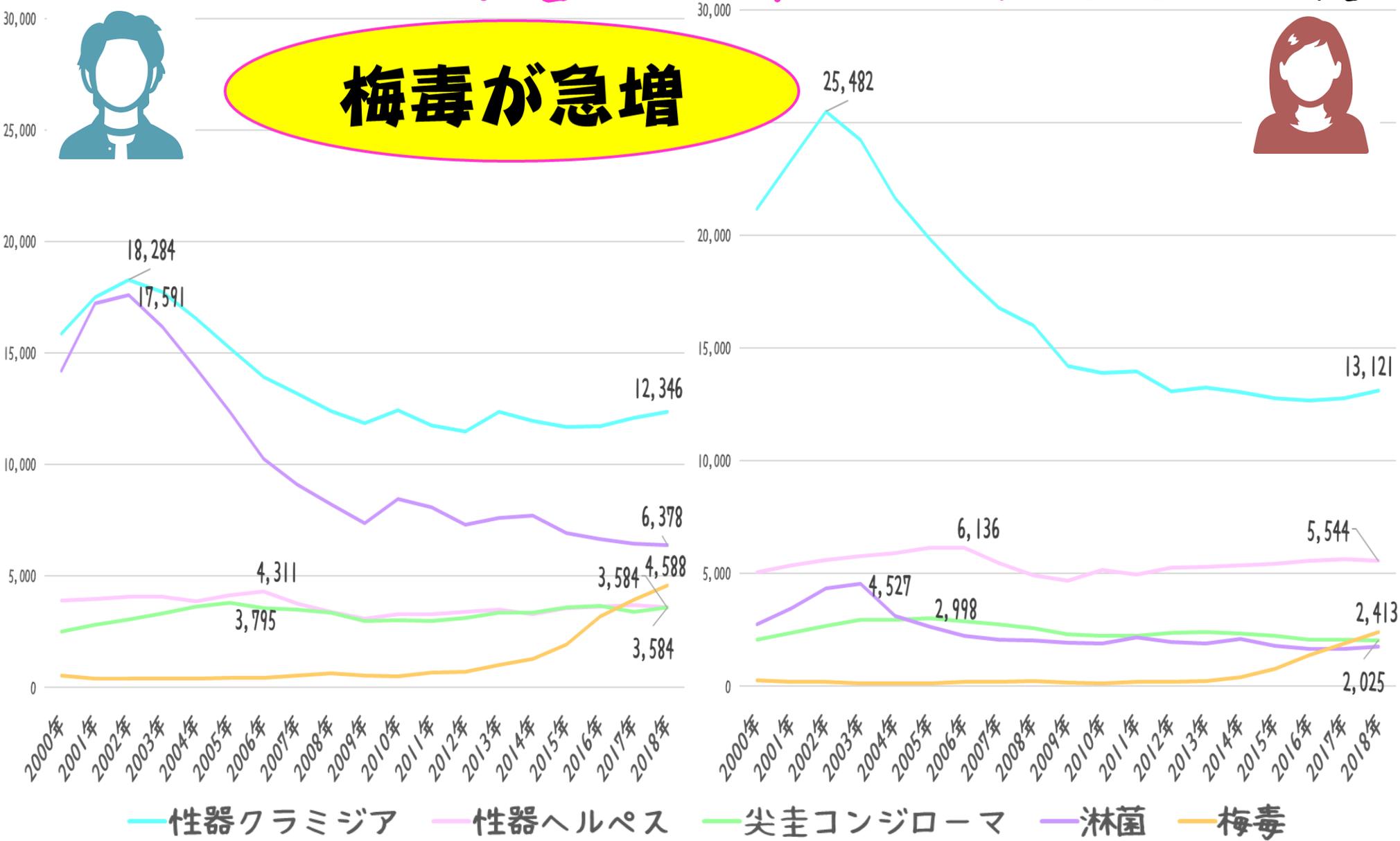
全ての医師に報告が義務づけられている。

# 性感染症報告数の年次推移

梅毒のみ全数  
他は定点あたり報告数



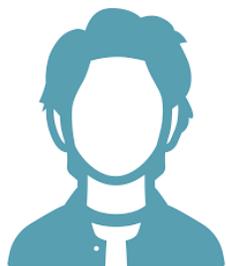
**梅毒が急増**



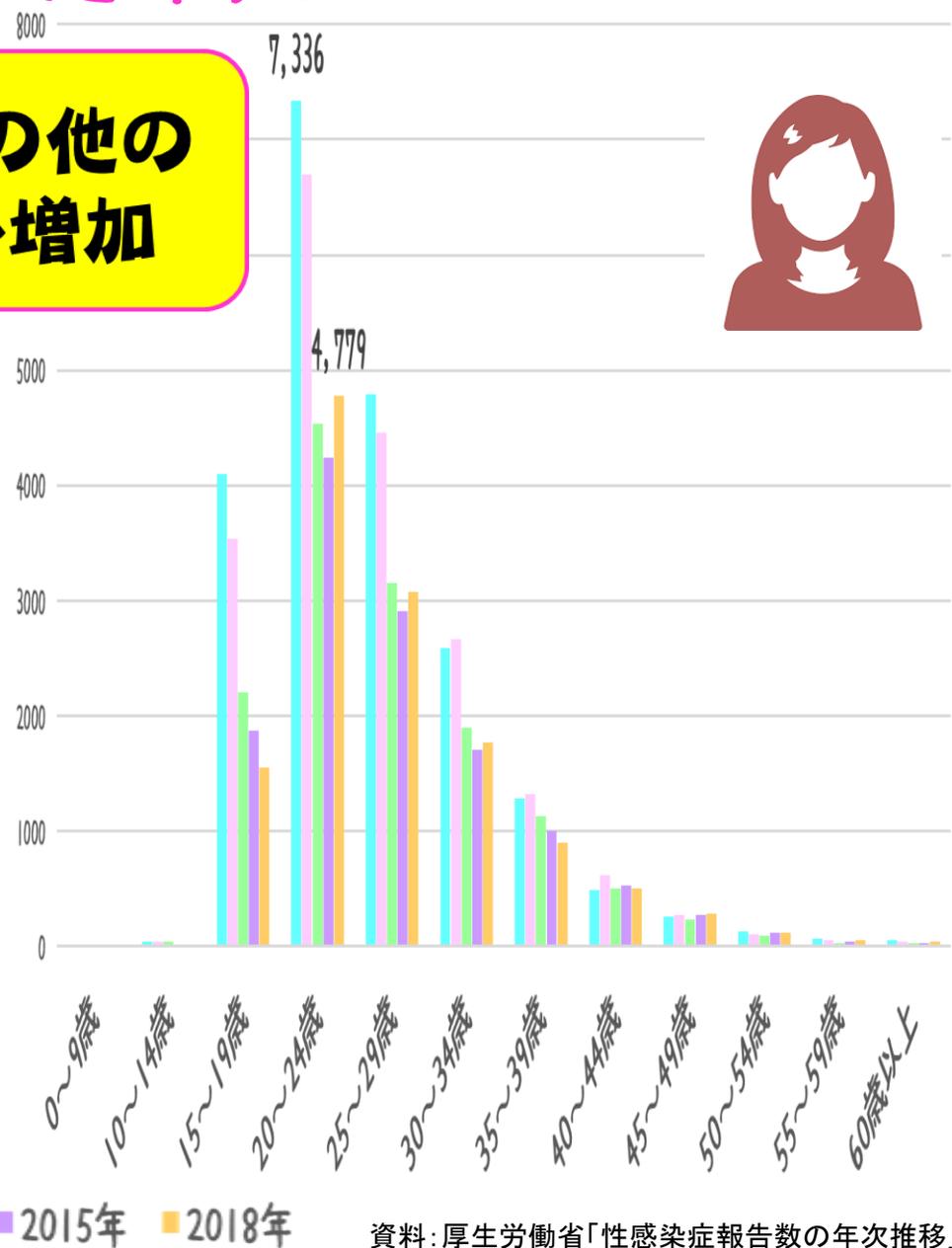
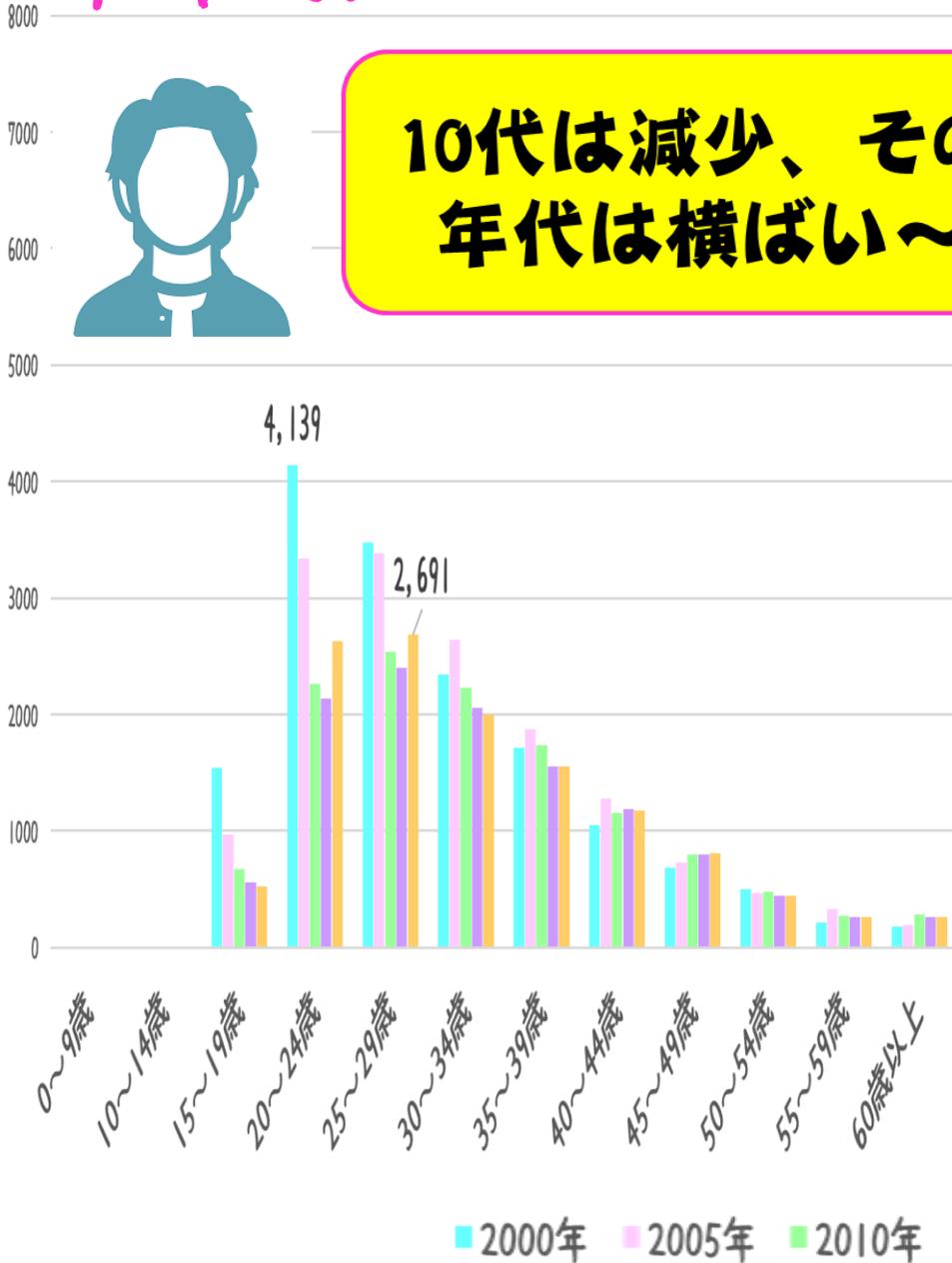
資料:厚生労働省「性感染症報告数の年次推移」2018年

種々の性感染症は  
どの年代で多く  
どのように変動しているのか？

# 年齢別性器クラミジア感染症



**10代は減少、その他の年代は横ばい～増加**



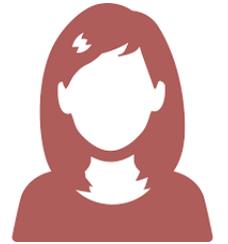
■ 2000年 ■ 2005年 ■ 2010年 ■ 2015年 ■ 2018年

資料: 厚生労働省「性感染症報告数の年次推移」2018年

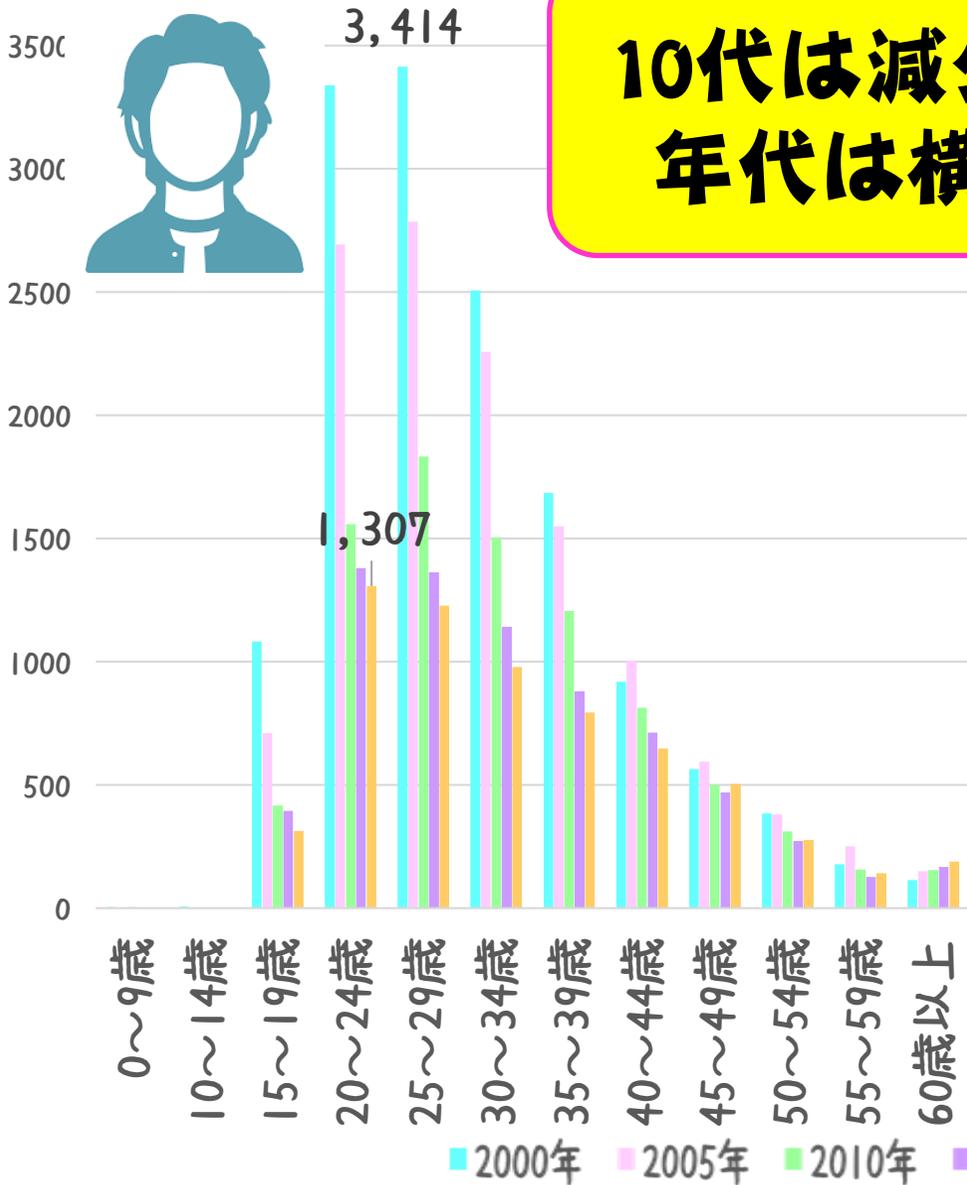
# 年齢別淋菌感染症

4000

4000



**10代は減少、その他の年代は横ばい～増加**



2500

2000

1500

1000

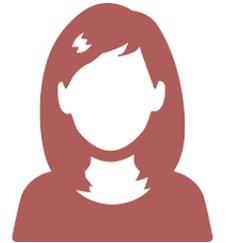
500

0

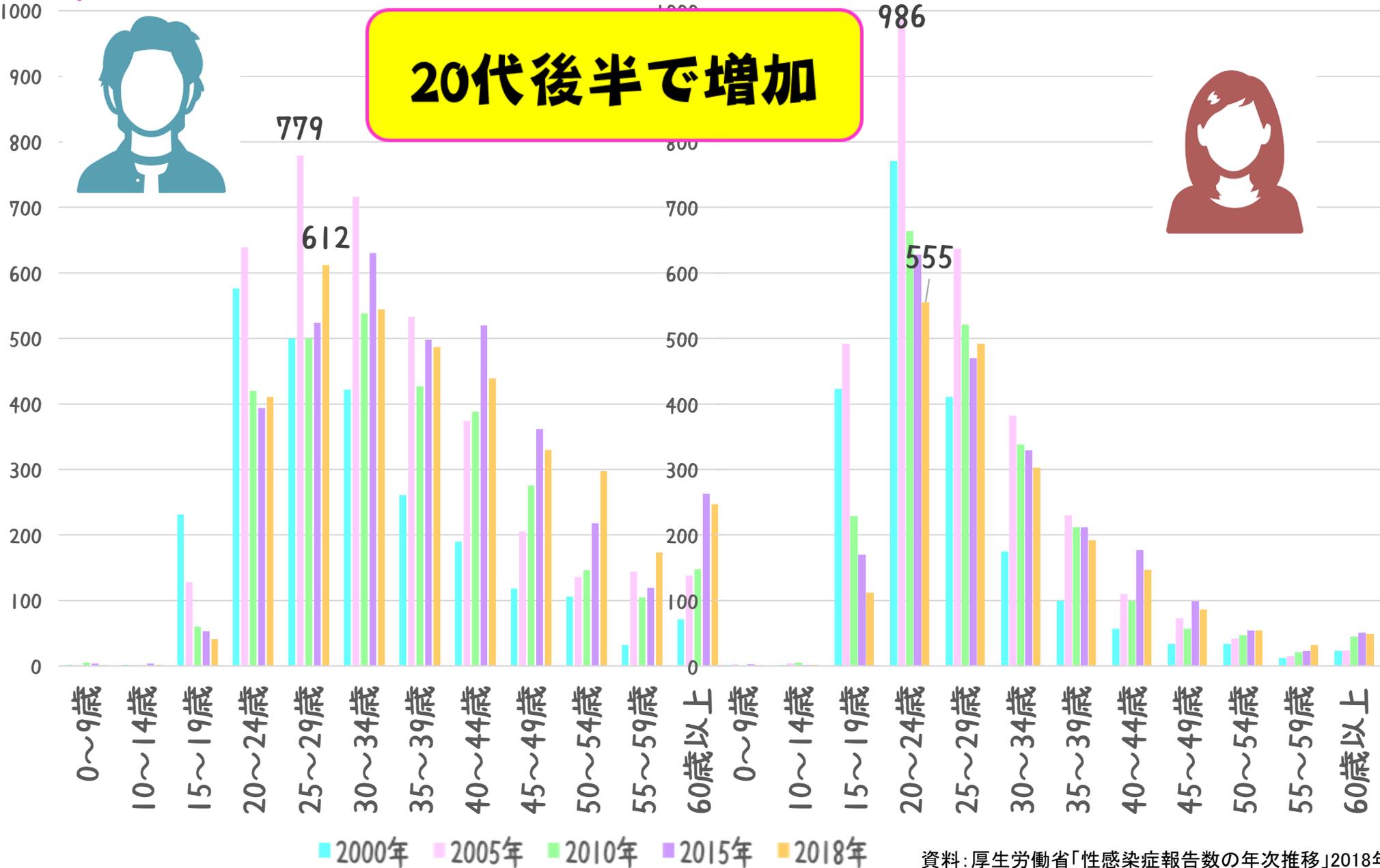


資料: 厚生労働省「性感染症報告数の年次推移」2018年

# 年齢別尖圭コンジローマ



**20代後半で増加**

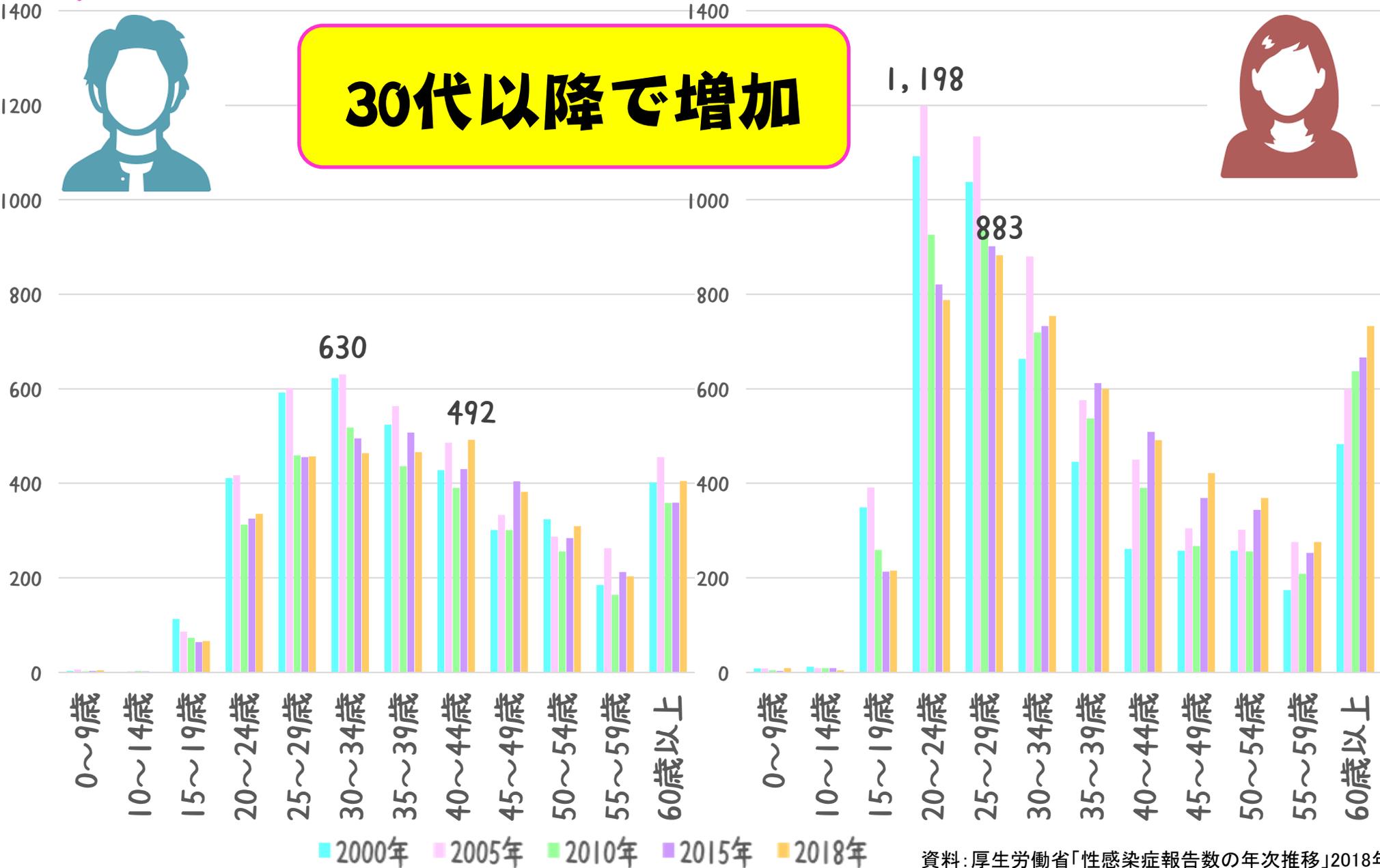


資料:厚生労働省「性感染症報告数の年次推移」2018年

# 年齢別性器ヘルペス



**30代以降で増加**

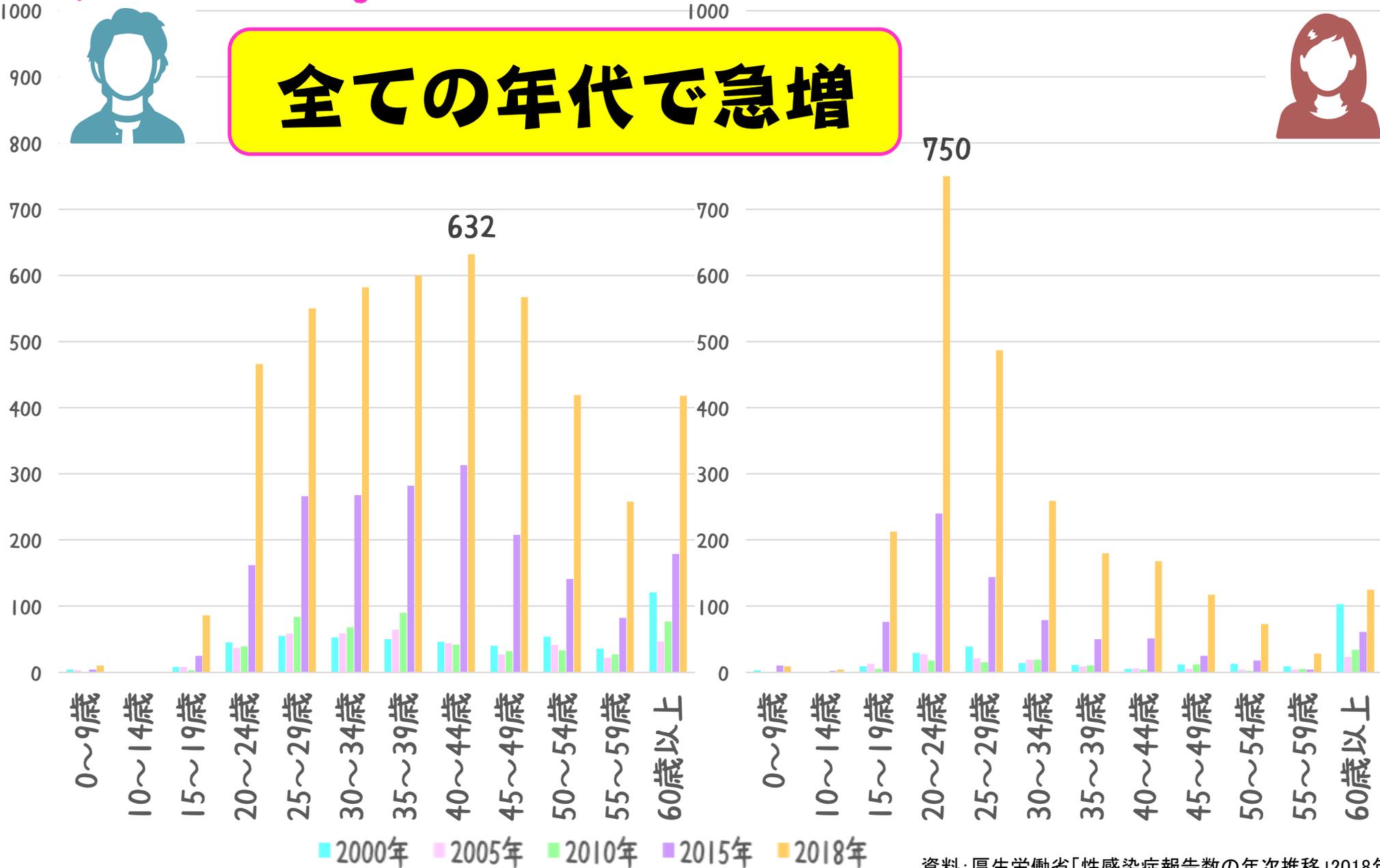


資料:厚生労働省「性感染症報告数の年次推移」2018年

# 年齢別梅毒



**全ての年代で急増**



資料: 厚生労働省「性感染症報告数の年次推移」2018年

# 梅毒

粘膜や皮膚の小さな傷から**梅毒トレポネーマ**に感染することにより、慢性の感染症で何年もかかって進行して行く。  
妊娠している人が梅毒に感染すると、胎盤を通して胎児に感染し、死産、早産、新生児死亡、児の異常が起こることがある。

# 梅毒の経過

第1期

第2期

第3期

第4期

3週

3か月

3年

10年

第一  
潜伏期

しじり潰瘍  
など

第二  
潜伏期

発疹  
(丘疹・バラ疹)  
扁平<sup>へん</sup>コンジローマ  
など

潜伏梅毒

結節  
ゴム腫  
など

進行まひ  
脊髄ろう  
大動脈炎  
など

↑  
感染

画像: CDC



画像: CDC



フランス  
人類博物館所蔵



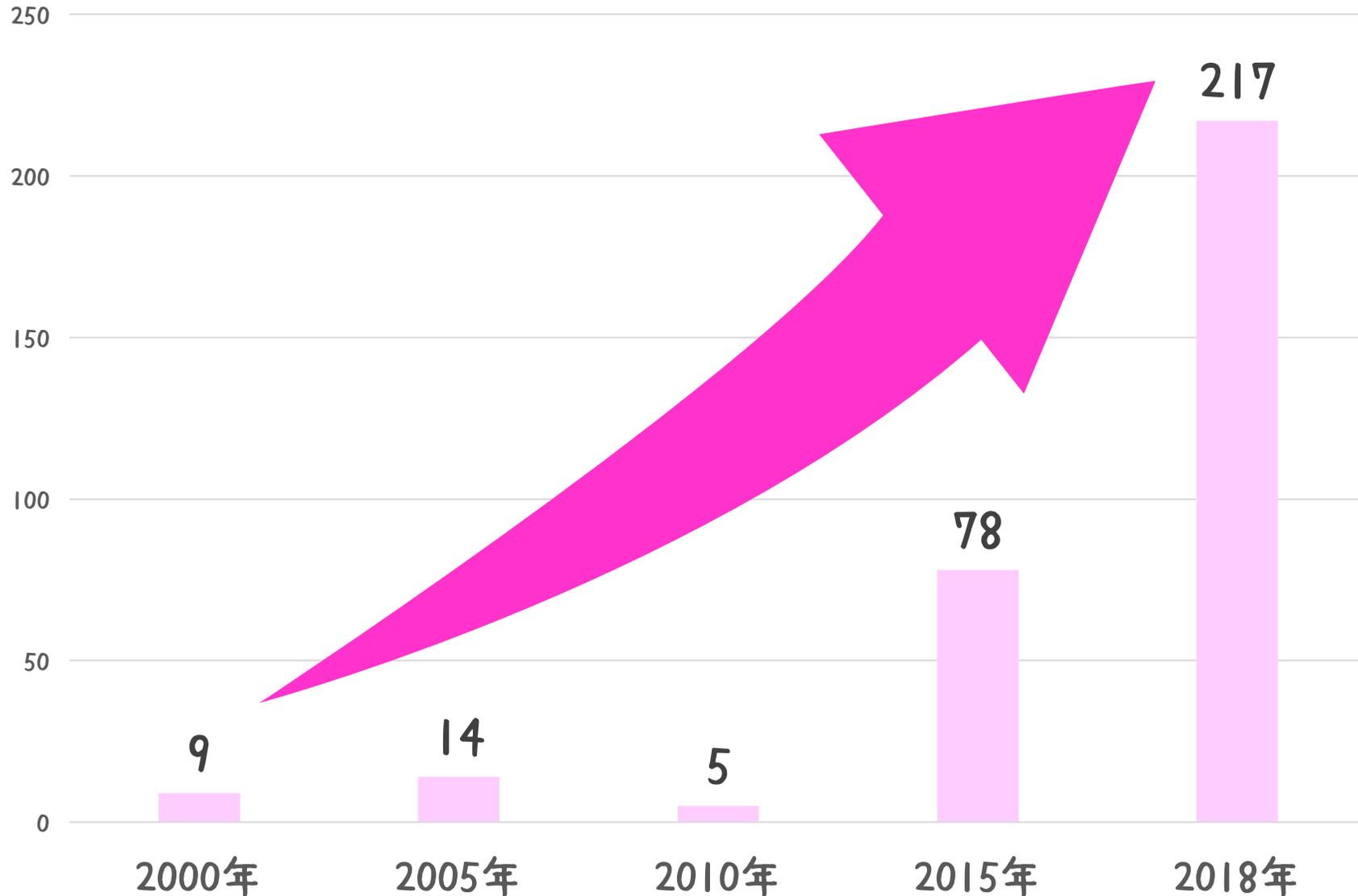


# 梅毒

顔面 痂皮を伴った  
潰瘍が多発

血液、精液、腔  
分泌物を介し  
て感染します

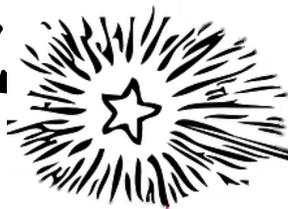
# 10代女性の梅毒患者の推移



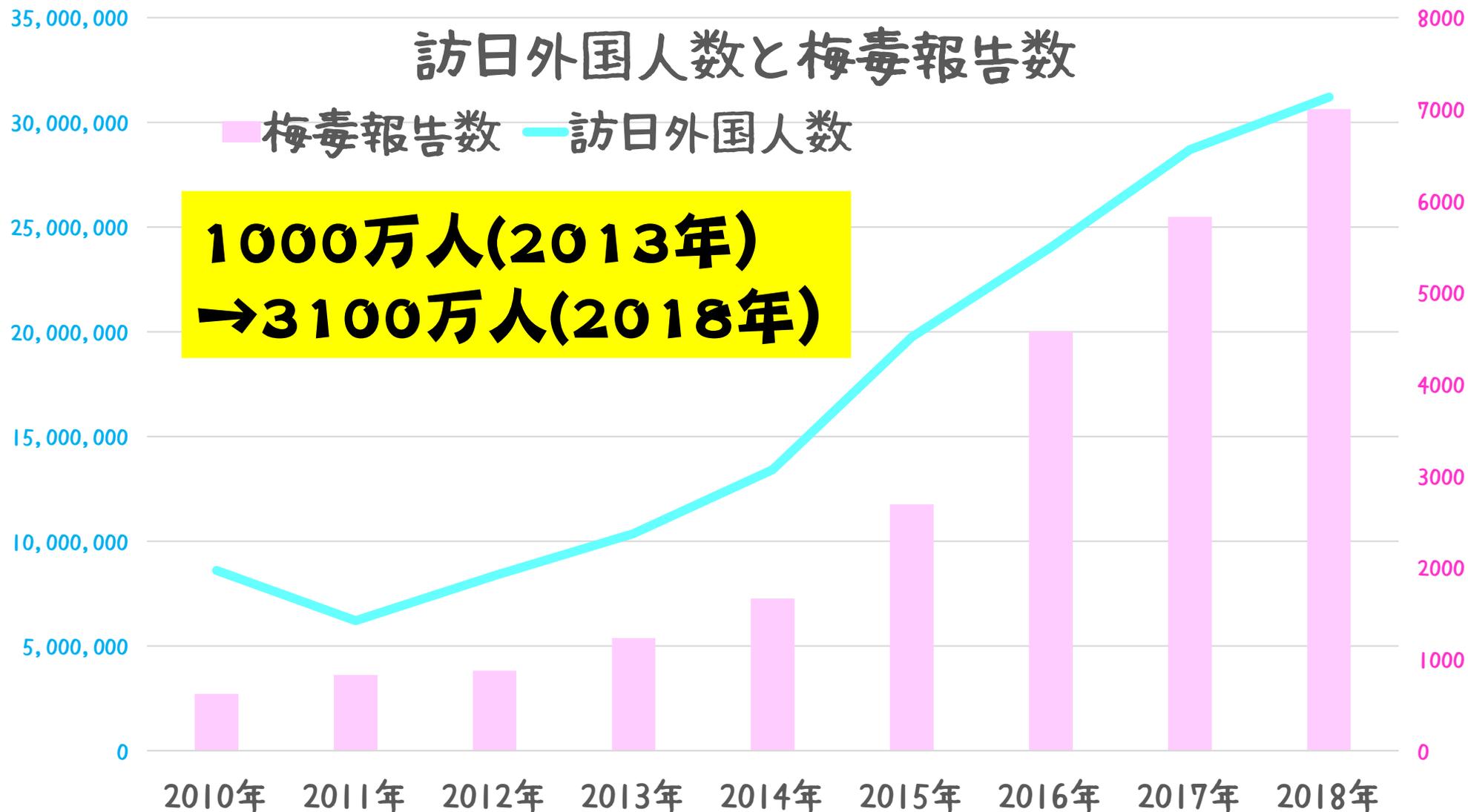
資料:厚生労働省「性感染症報告数の年次推移」2018年

どうしてこんなに梅毒報告数が増えたのか???

- 1) 海外流入説
- 2) SNS関与説



# (1) 海外流入説



## (1) 海外流入説

性風俗産業の利用は外国人客の利用を制限していたが、利用を解禁するようになり、梅毒の有病率が高い国の旅行者から国内の性風俗産業従事者への感染が増え、そこから国内に広まった。

## (2) SNS関与説

### 婚活アプリ

**Pairs(ペアーズ):利用者 1000万人越え**

Tinder(Tinder社)	2012年
Omiai(ネットマーケティング)	2012年
Pairs(エウレカ)	2012年
タッフル誕生(サイバーエージェント)	2014年
ゼクシィ恋結び(リクルートマーケティングパートナーズ)	2014年
with(イグニス)	2015年

出会った相手との性交渉を目的としている訳ではないが、不特定多数の性的接触機会の増大につながり梅毒患者の増加に影響を与えた可能性が考えられる

引用:鈴木陽介「SNSによる「出会いの変化」が梅毒増加の原因か?」『現代性教育ジャーナル』2019年

アプリの利用率が高い都道府県程、  
人口当たり梅毒の新規報告の割合が  
多い傾向がある



まずは海外からの梅毒の流入で  
はじまり、その後、SNSを介して  
日本人から日本人へ広がっている

出会い系アプリの普及と軸を一にするように梅毒患者が増えているということは、その背後でほかの性感染症も急増する可能性も高い。

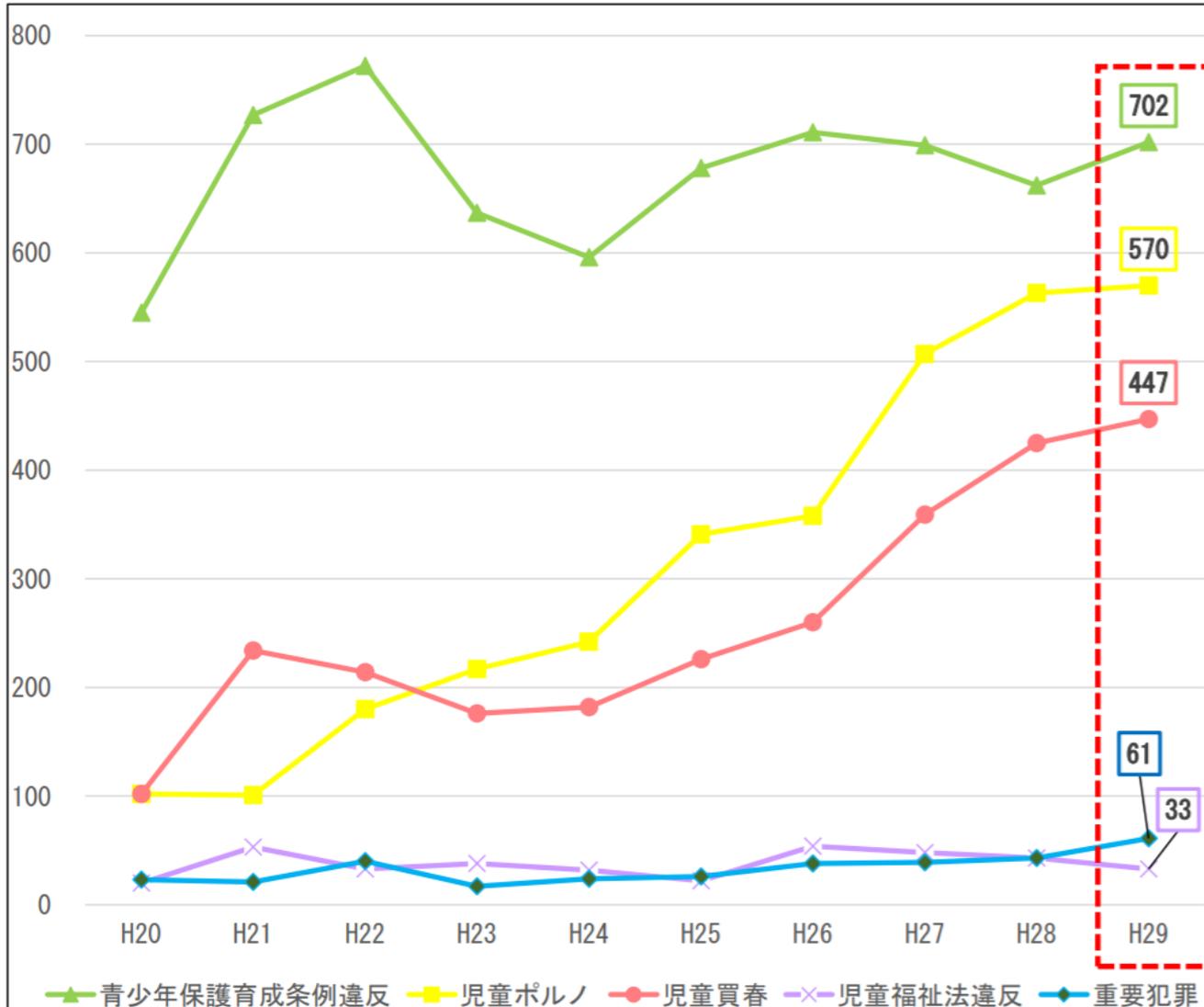
クラミジアなどの性感染症は、症状を自覚しにくく病院を受診していないケースが多いと考えられる。

# 子どもたちの SNSでの被害

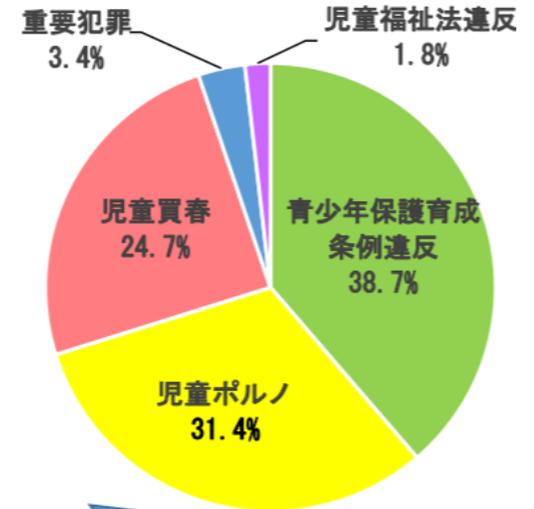


# 罪種別の被害児童数の推移(SNS)

児童ポルノと児童買春が増加傾向にあり、他罪種は横ばい



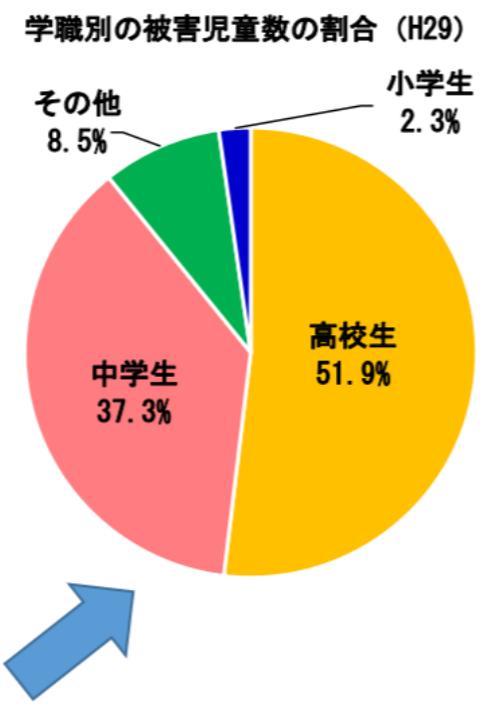
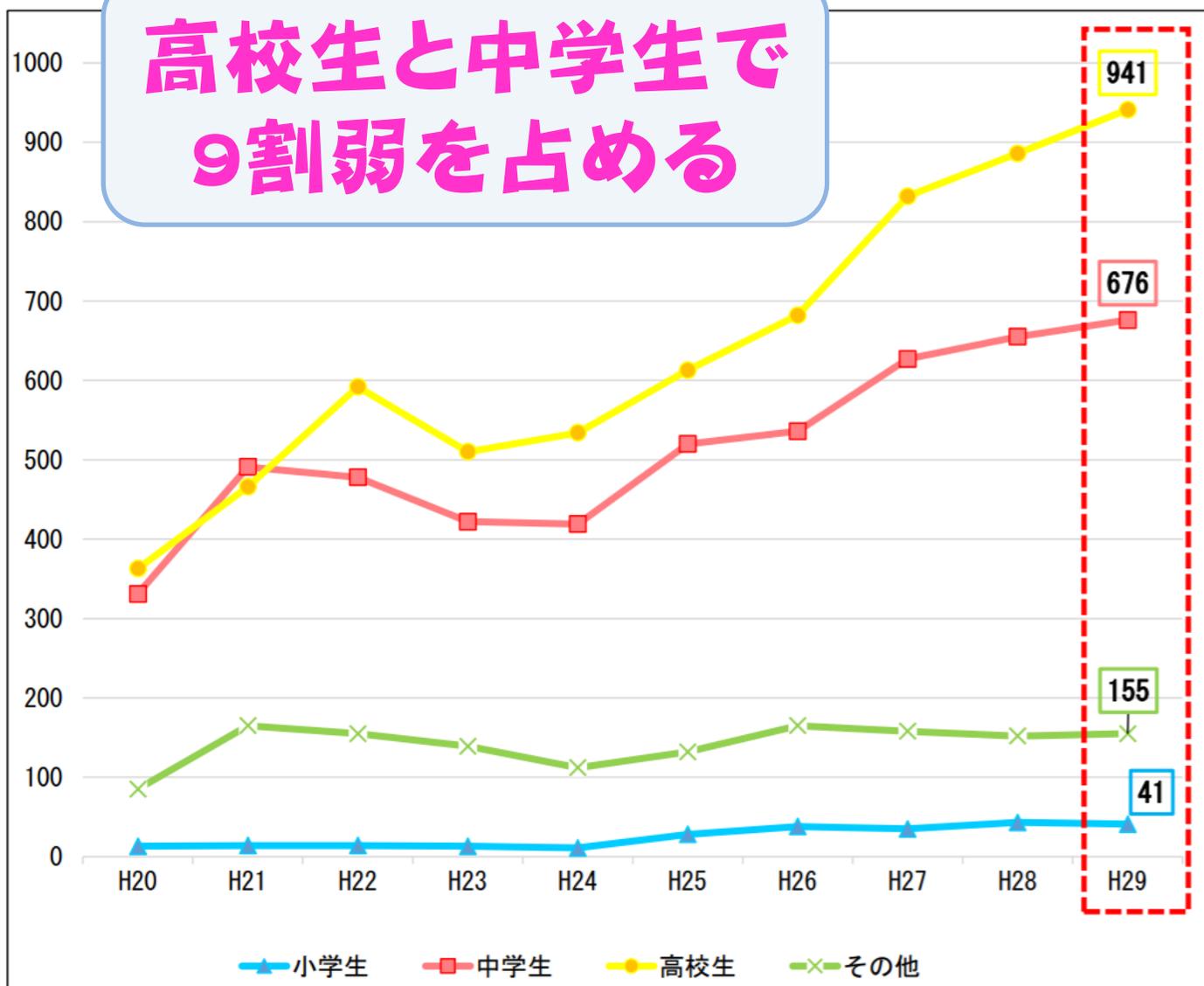
罪種別の被害児童数の割合 (H29)



引用:警察庁少年課・情報技術犯罪対策課「平成29年におけるSNS等に起因する被害児童の現状と対策について」2019年

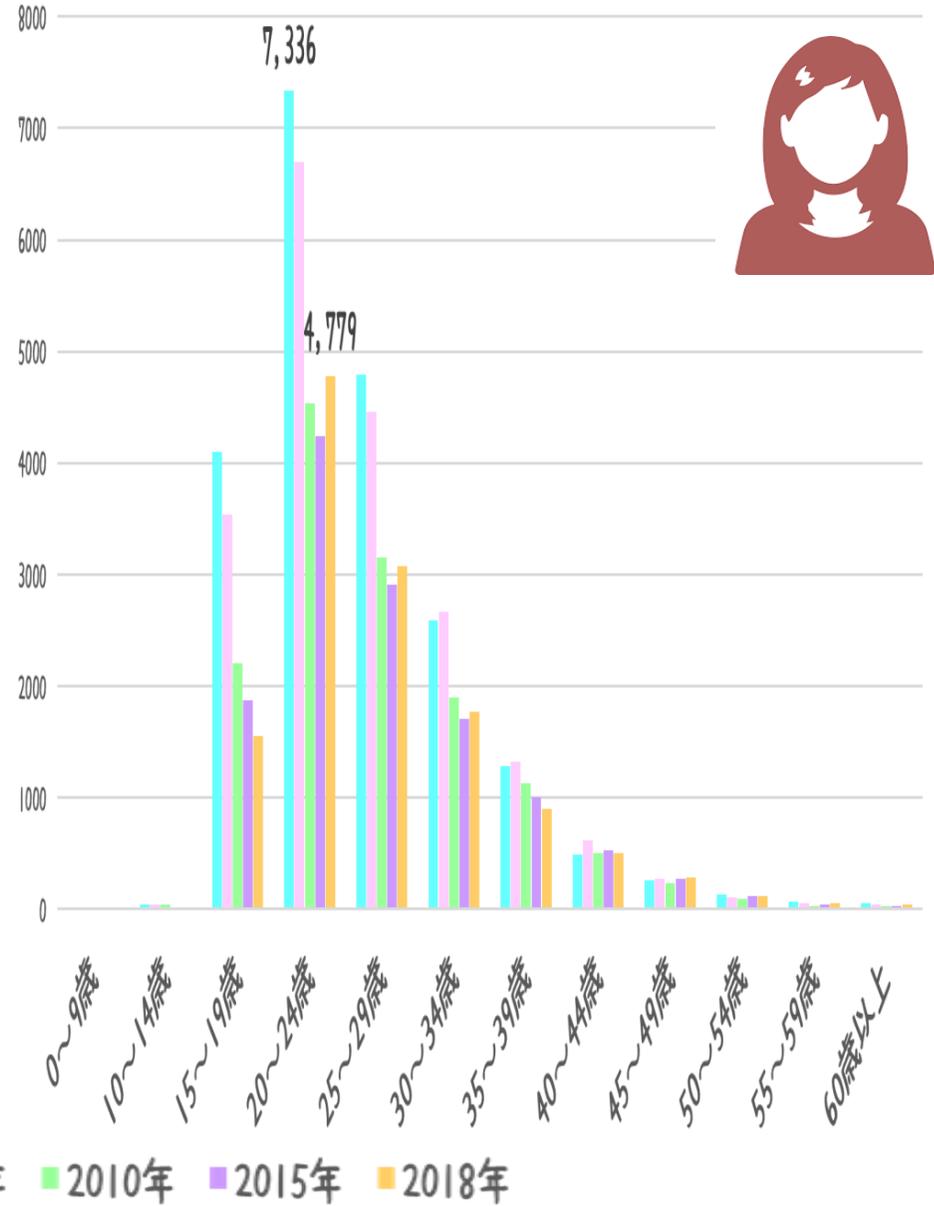
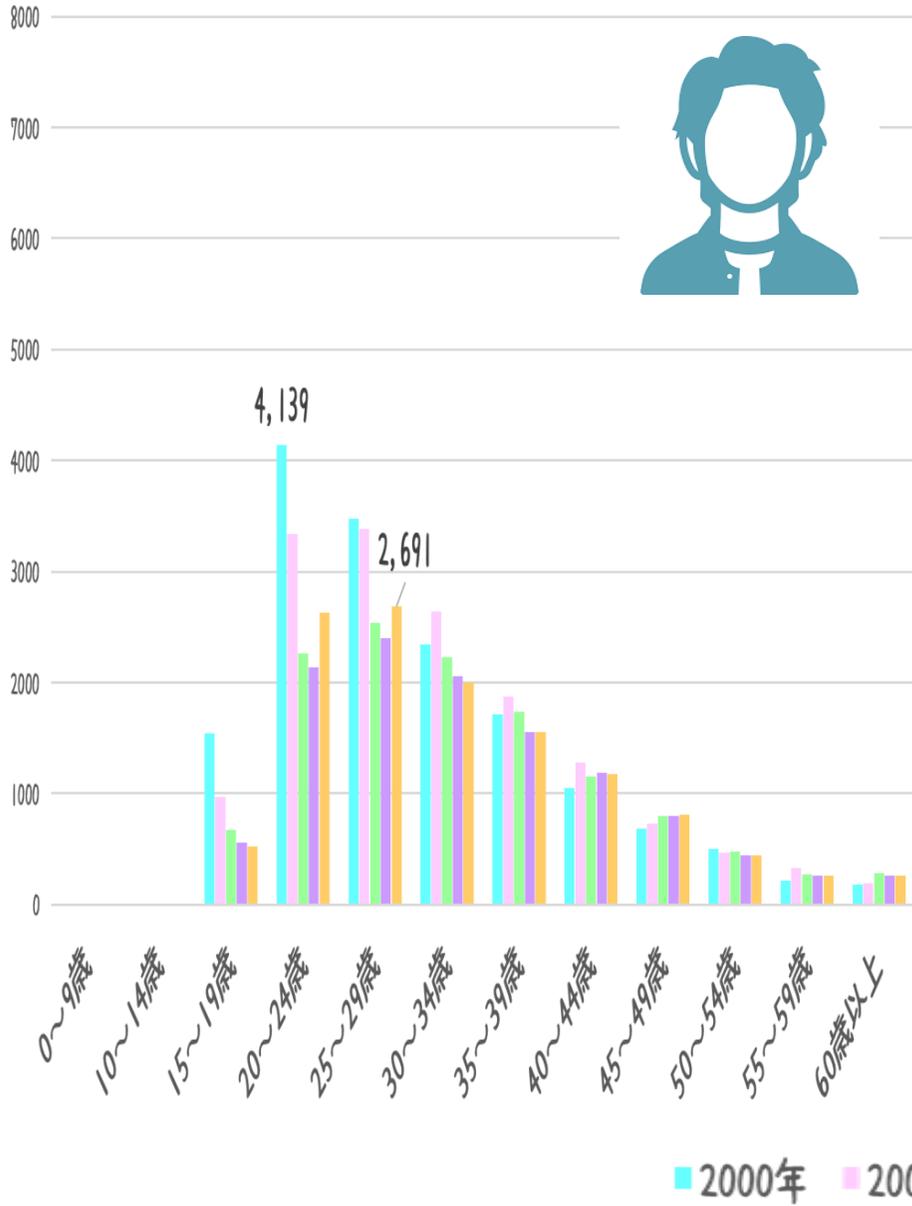
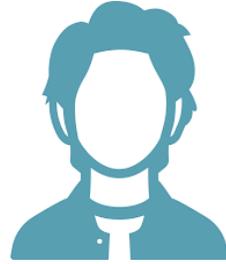
# 学職別のSNSでの被害児童数の推移

高校生と中学生で  
9割弱を占める



引用：警察庁少年課・情報技術犯罪対策課「平成29年におけるSNS等に起因する被害児童の現状と対策について」2019年

# 性器クラミジア感染症



# 性器クラミジア感染症

今のところは10代の増加は  
見られないが、やがて10代  
にも

影響は出る可能性は大きい  
適切な知識をもって  
予防することが大切

## (2) 子どもたちの 性に対する意識と現状



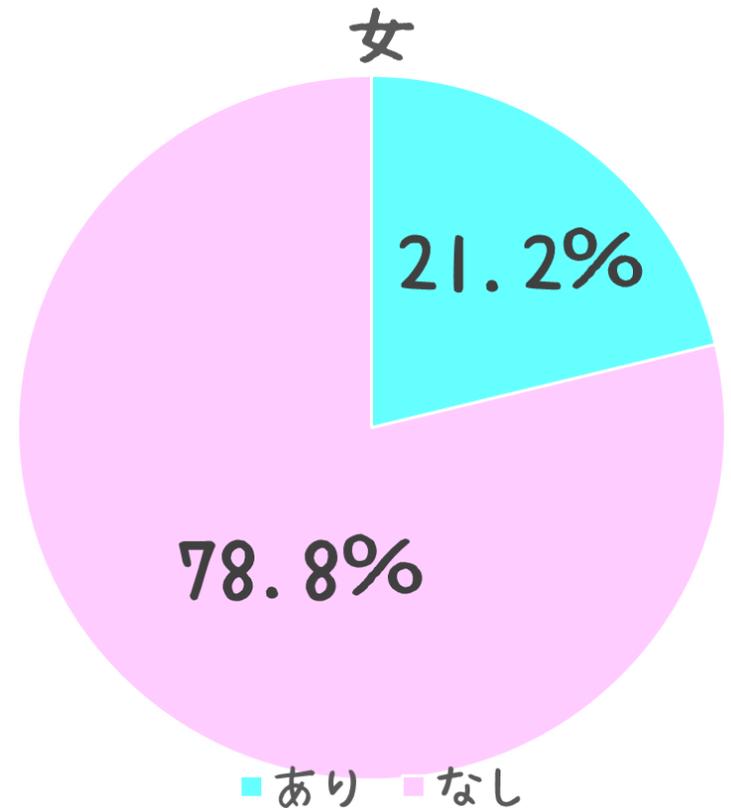
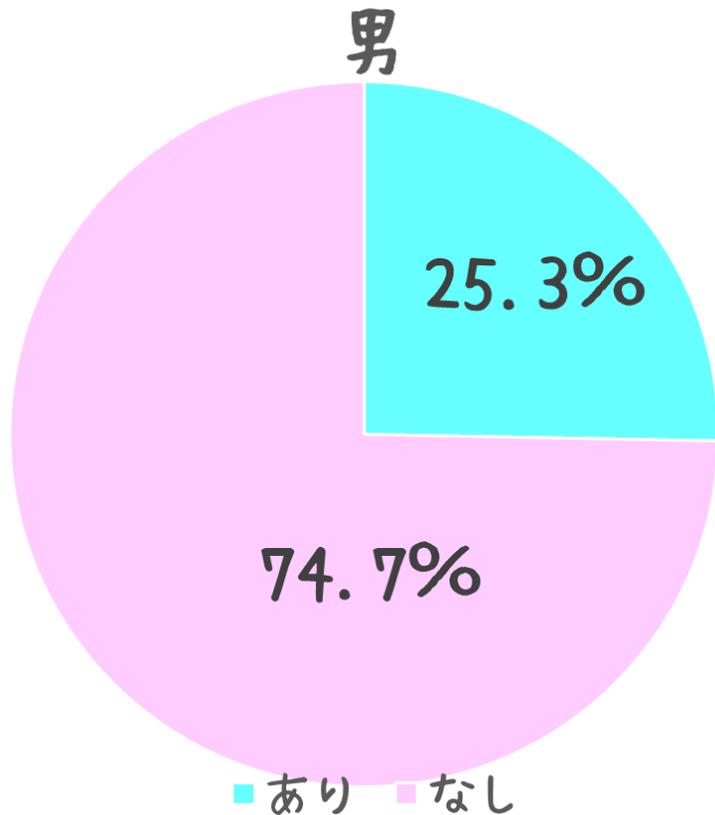
2018年12月 日本財団が全国の 17~19歳 の男女各々400人、合計800人に対してセックスに対する意識をインターネットで調査し、結果を発表

---

- マスターベーション  
経験
  - マスターベーション  
で使っているもの
  - 性交経験
  - 性交頻度
  - 経験人数
  - 初体験年齢
  - 避妊の必要性
  - 避妊の必要性を感じない理由
  - 避妊をする人
  - 性病への不安
  - 性病罹患経験
  - 学校での性教育について
  - 性に関する情報源
-

# 性交経験

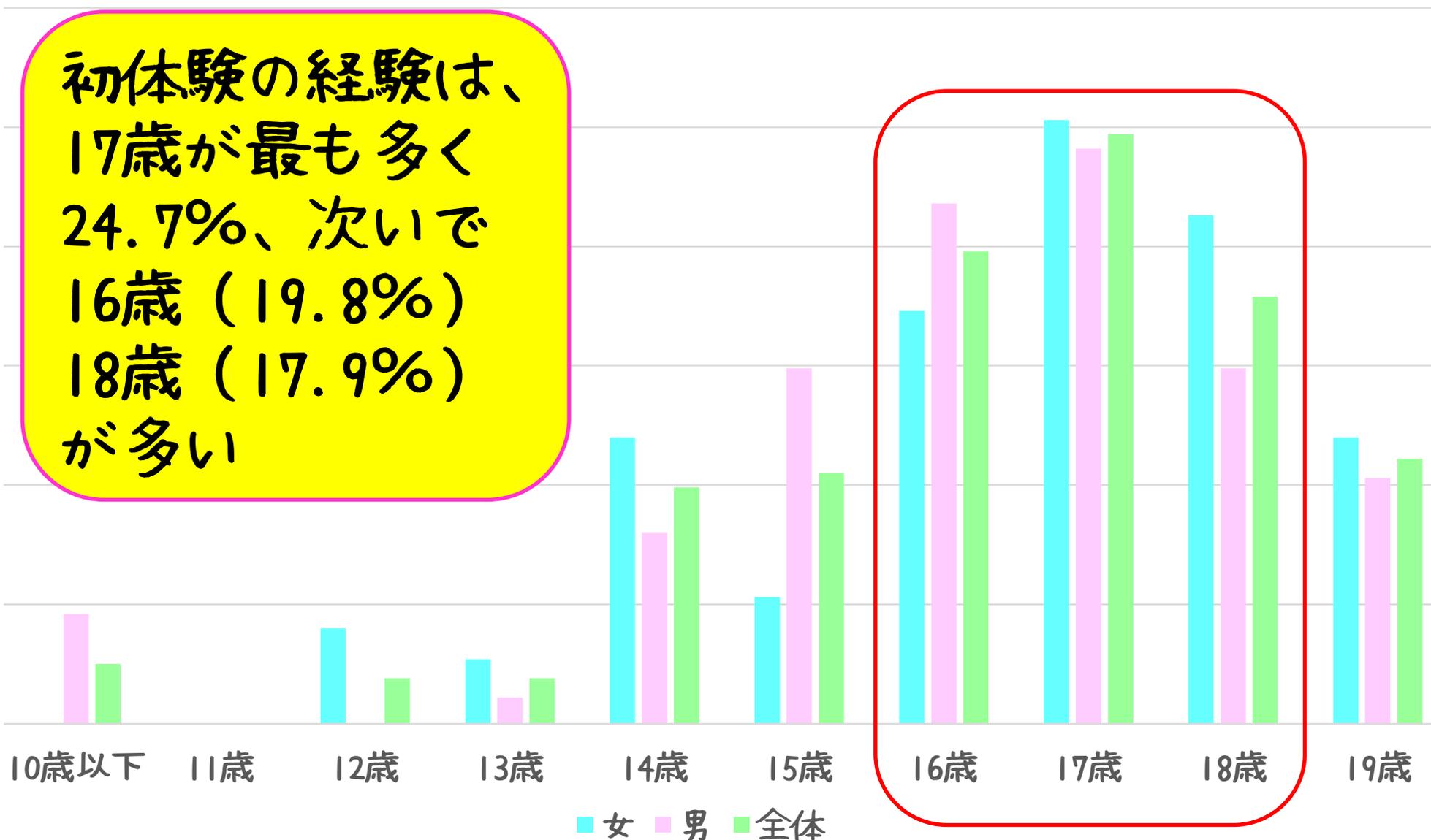
全体の23%が性交経験あり



# 初体験年齢

(%)

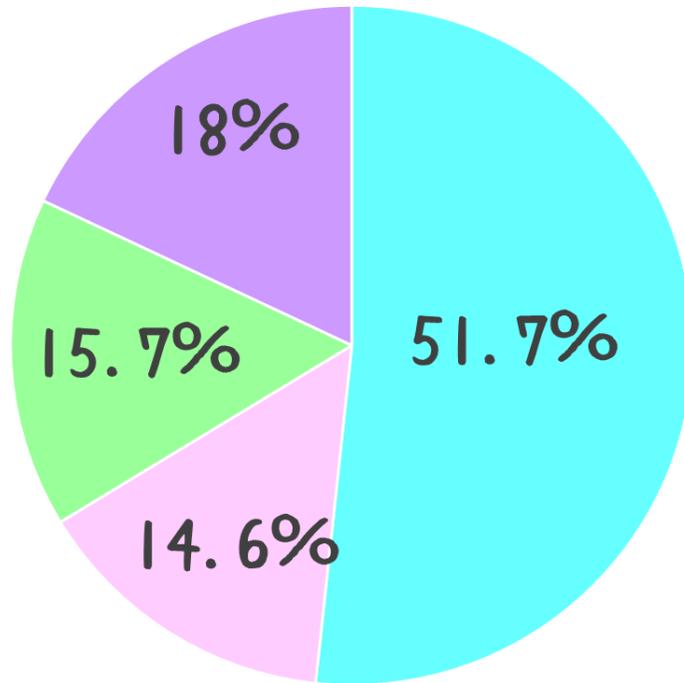
初体験の経験は、  
17歳が最も多く  
24.7%、次いで  
16歳（19.8%）  
18歳（17.9%）  
が多い



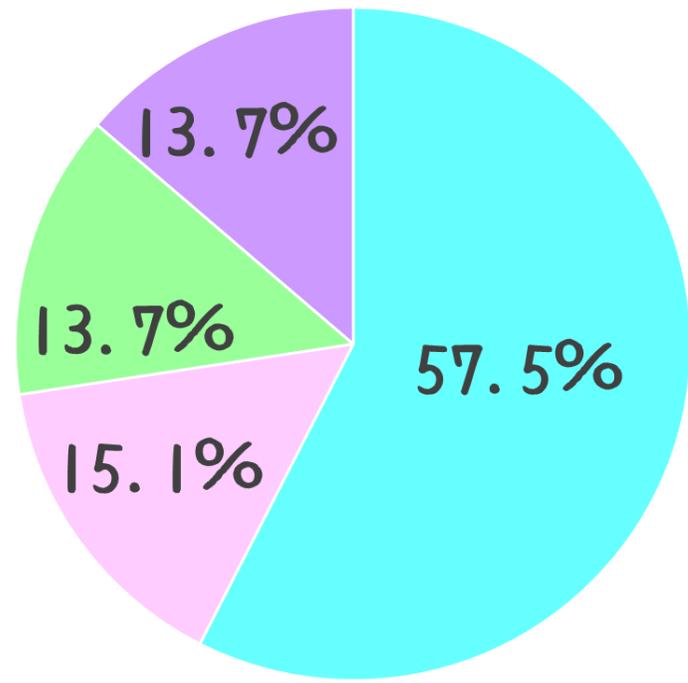
# 経験人数

54%が1人と回答。  
男性より女性の方が「1人」と回答している  
人が多く経験人数が少ない傾向がみられる

男

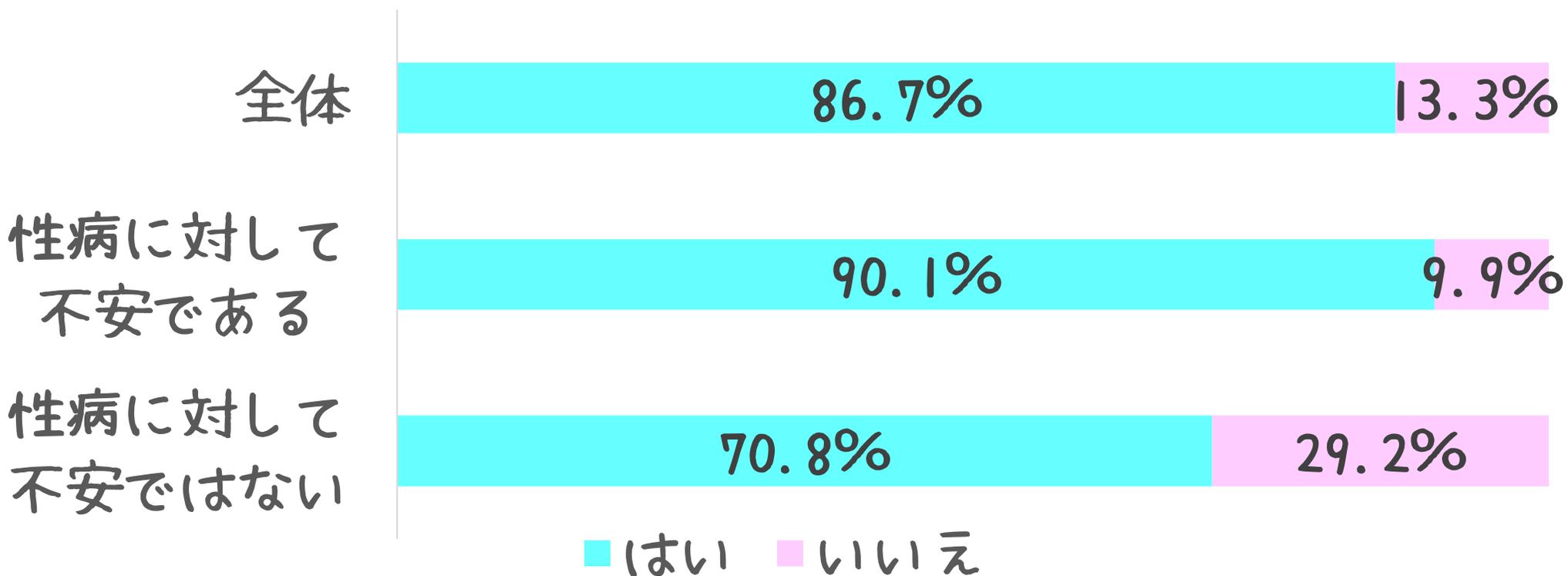


女



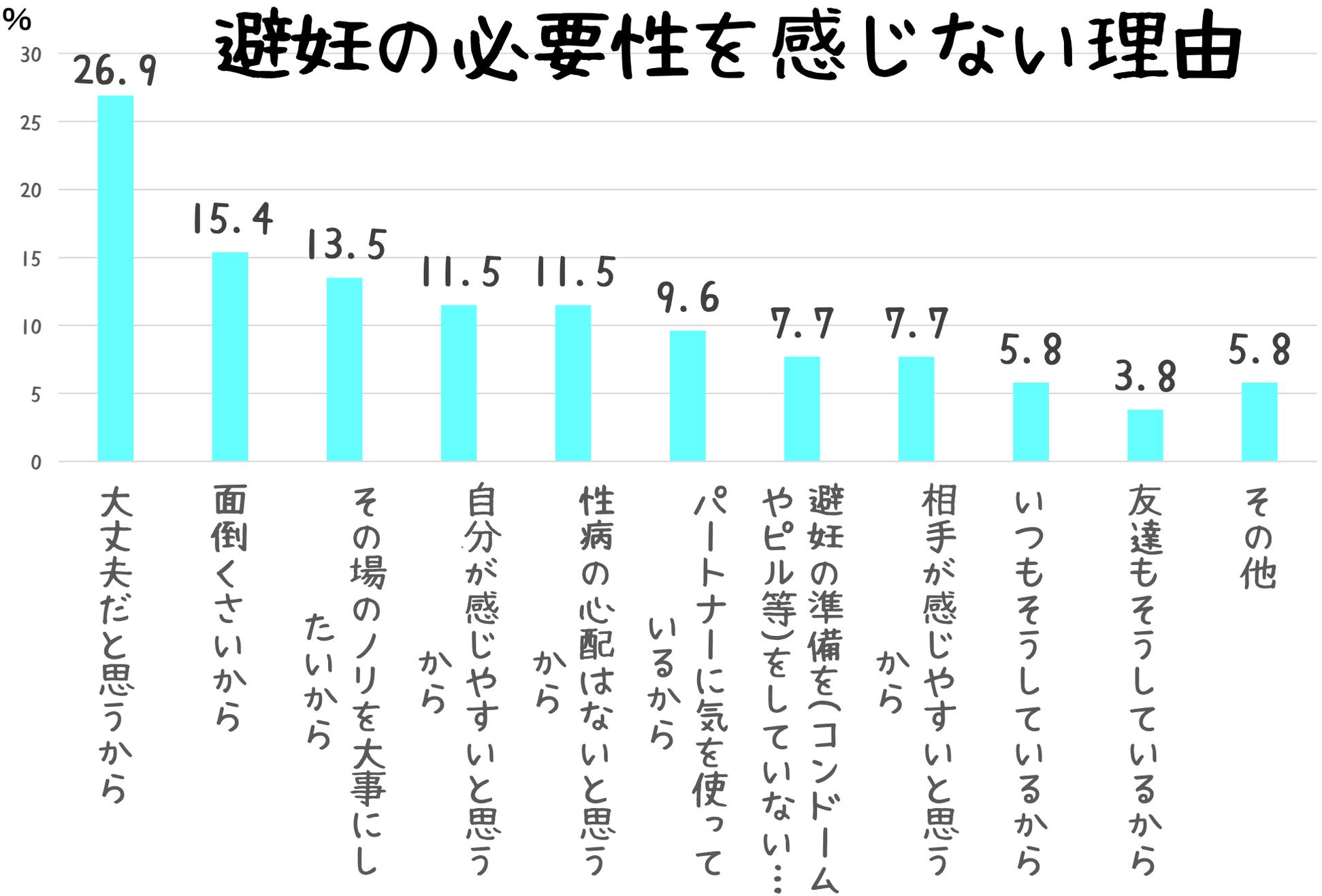
■ 1人 ■ 2人 ■ 3人 ■ 4人以上

# 避妊の必要性



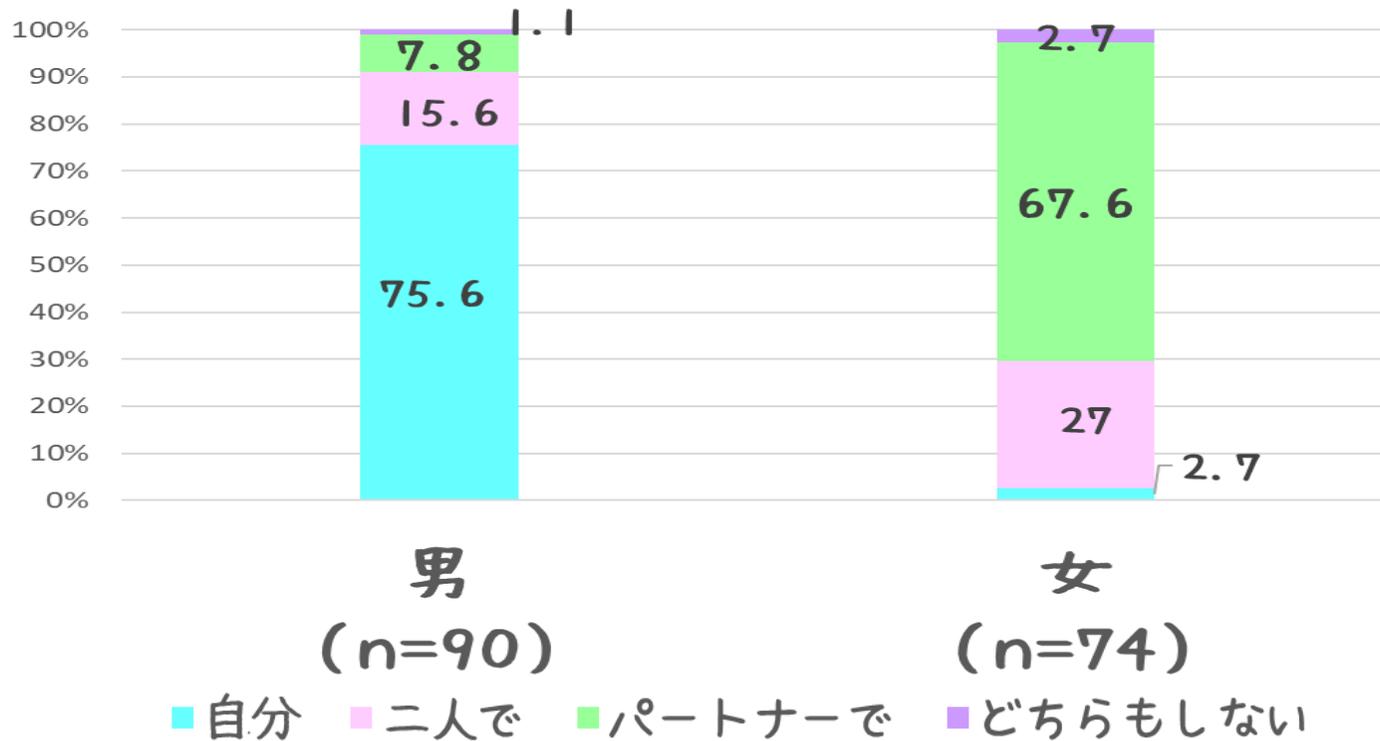
全体の86.7%が避妊の必要性を感じている。  
性病を不安に思っている人は、そうでない  
人に比べて避妊の必要性を感じている

# 避妊の必要性を感じない理由



# 避妊をする人

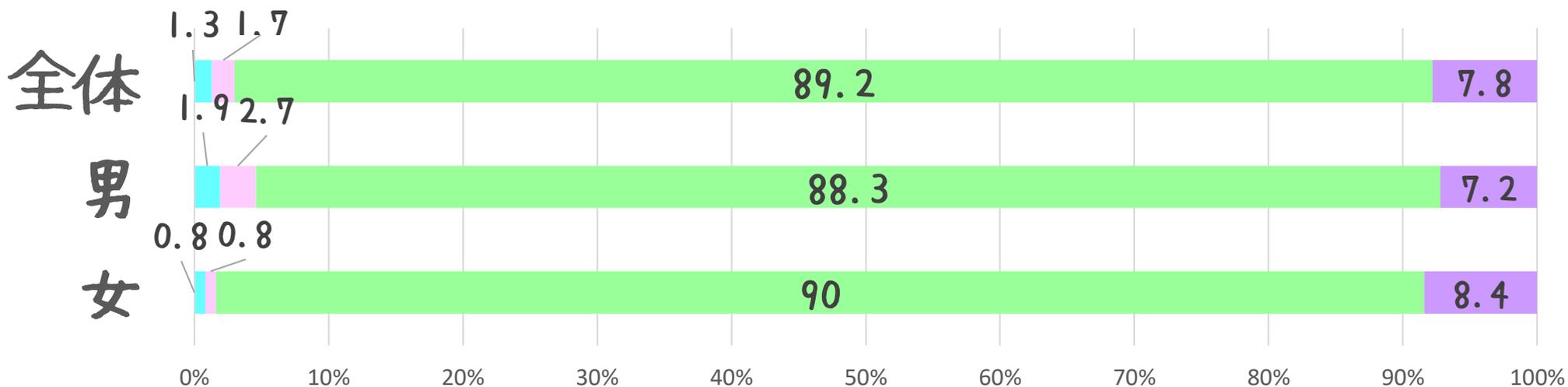
<男女別>



男女で差が見られ、男性は75.6%が「自分」  
であるのに対し、女性は「パートナー」が  
67.6%

# 性病罹患経験

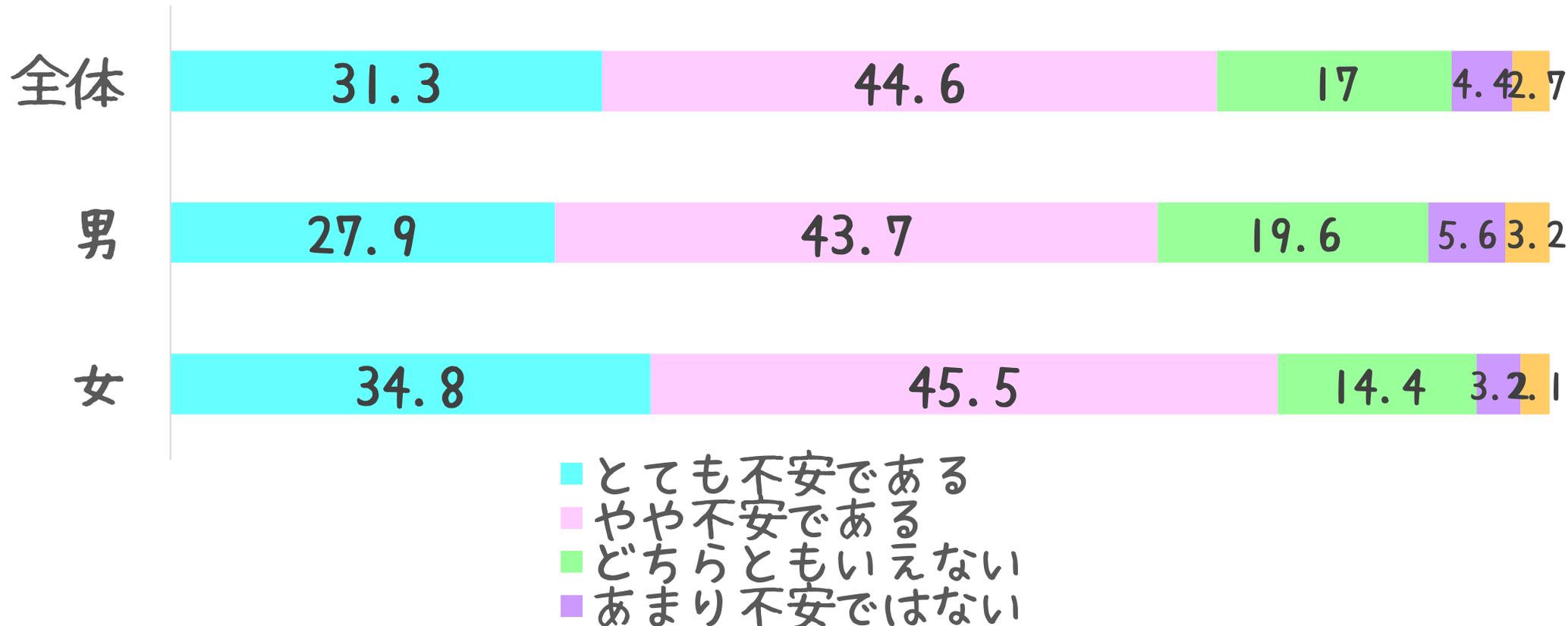
性病にかかったことのある人は  
全体の1.3%



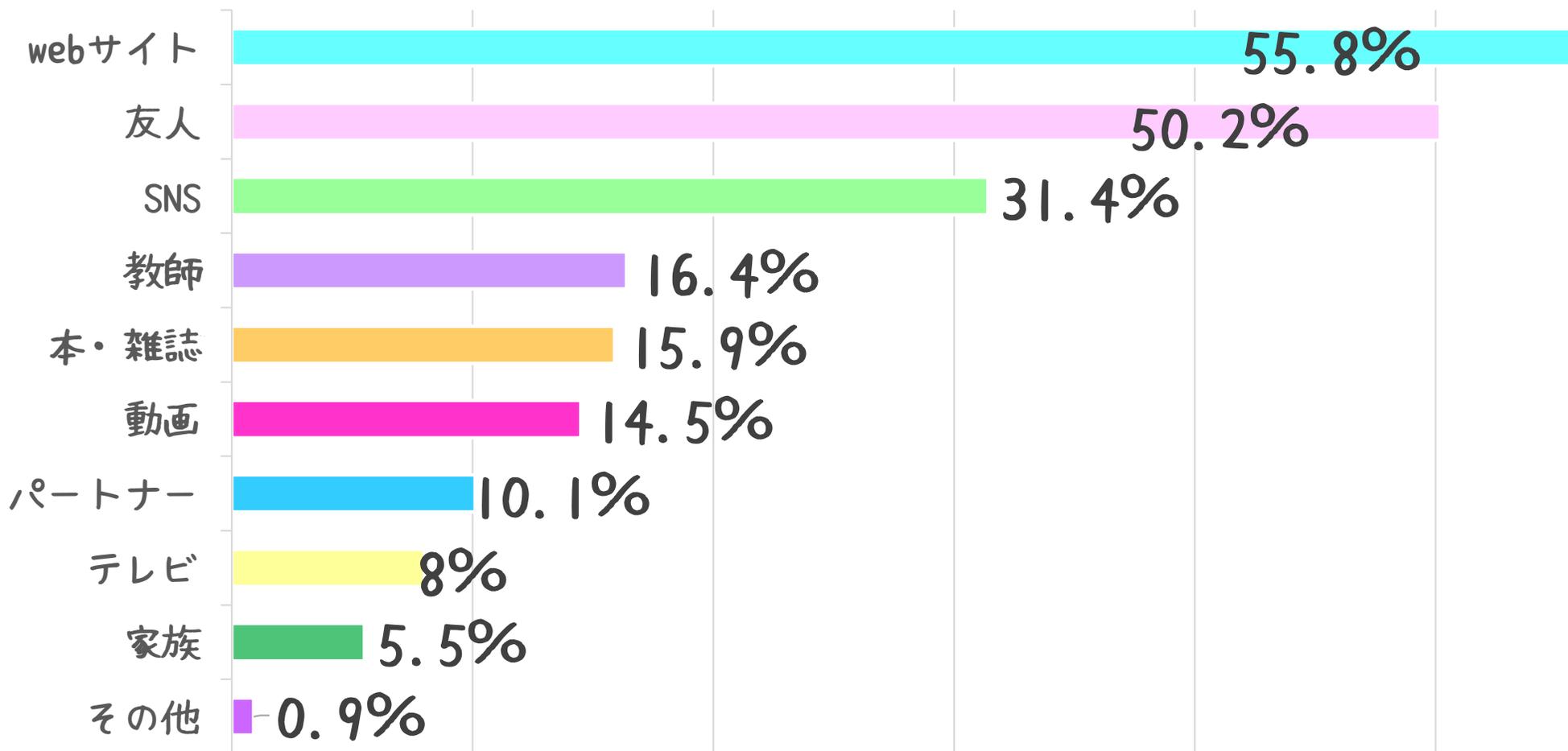
- ある
- 病名はわからないがかかったことはある
- 性病にかかったことはない
- わからない

# 性病への不安

男性より女性の方が不安を感じる人の割合が多い



# 性に関する情報源(複数回答)



# 学校での性教育について

全体



■ 役に立った ■ 役に立たなかった

# 性教育ではどのような内容があればよいか

避妊の必要性、性病の危険性、より具体的な内容、男女の体の仕組みについてなどが多かった

## 避妊の必要性・性病の危険性 など

- ・オナニーのやり方、セックスや避妊のやり方と重要性、性行為全体の危険性と必要性 (男性)
- ・避妊せずにセックスしてしまった場合に起きてしまう、事例を何ひとつ包み隠さず伝える。(女性)
- ・避妊の重要性をもっと説明してほしい (女性)
- ・避妊具の正しい使用方法の講習 (男性)
- ・ちゃんとSEXがどのような行為か教えた方がいい、その時にちゃんとゴムをつけて避妊することを覚えさせる(学生だから) (女性)
- ・もっと性行為というものに危機感を持てるようにした方がいいと思ひましたり (男性)
- ・レイプする男性がいること 露出魔がいること 無知なので知れた (女性)
- ・援助交際、未成年淫行について詳しく記載してほしい。(男性)
- 危険性についてもっと教えるべき。性教育を学ぶことは恥ずかしいことではないという教育が欲しい。(女性)
- ・習うことが同じすぎて知識が増えない。性病に関してもっと学ぶべき。(男性)
- ・性教育といっても、女性と男性それぞれの性器の名前を教わったり月経の事を学んだだけで、避妊しないと妊娠するとか、避妊しても妊娠するとか割と大事な情報を教えてもらっていない。男女分かれて保健体育の授業を受けて男子には男性の先生、女子には女性の先生だったにも関わらず、軽く学んだだけだった (女性)
- ・性病の危険性や避妊の重要性についてをもっと重点的にやるべきだと思う。(男性)

## より具体的な内容

- ・もっと具体的に学びたい (男性)
- ・もっと踏み込んでよい、男女分けてるところもあるらしいのでそれを無くす (男性)
- 遠回しに説明するのではなく、ちゃんと説明して欲しかった (女性)
- 具体性がない。(特に小学校)日本は他国と比べて保健体育の授業内容が足りてない。小学校の時に少し習ったが、結局自分で調べて知るまで何も分からなかった。(男性)
- 具体的なsexのやり方を教えないといけないと思う間違った知識で望まない妊娠をする女性が増えている1つの理由は学校の性教育の曖昧さがあると確信している (男性)
- ・実際の性行為の仕方 (男性)
- ・実体験の話や子供が性についての事柄を軽々しく思わなくなる話 (男性)
- 性行為 = マイナスイメージというのを払拭したい。(男性)
- ・性的知識が全くないのでもう少し教えてくれてもいいと思います。(女性)
- 濁すように教えることが非常に多く感じたので、どのような行為なのかをはっきりと、コンドームなどの実物を実際に見せて教えてあげてほしい。(女性)

## 男女の体の仕組みについて

- ・もっと女性の生理の仕組みや男女の身体的な痛みや悩みについて学ぶ機会がほしい。(女性)
- ・やり方や体の仕組みより相手のことを尊重して人を想うことの学習が大事だと思う。(男性)
- 女性の生理や妊娠に関して、デリケートな問題ではあるが男性に十分な知識(特に痛みや症状など)を与えるのも重要な性教育であると思います。また、その逆に男性の勃起などについて(車や電車の振動で勃起することがあることなど)も女性にある程度は知っていただきたい。今の日本の性教育では、男女が互いのそれらに理解がなすすぎます。(男性)
- ・生理についてもう少し詳しく教えてもらいたかった。(生理不順についてやおりものの性状など) (女性)
- 男女が別々の事を習い、異性のことを全く知らないのではなく、ある程度は異性の変化なども知るべきだと思う (女性)

【学校での性教育にあったら良いと思う内容「自由回答集」】

# (3) 日本での性教育の現状



# 性教育を取り巻く日本での歴史

## ・ 1990年代

1980年代のエイズ・パニックをきっかけとして性教育ブームが起こる

## ・ 1992年「性教育元年」

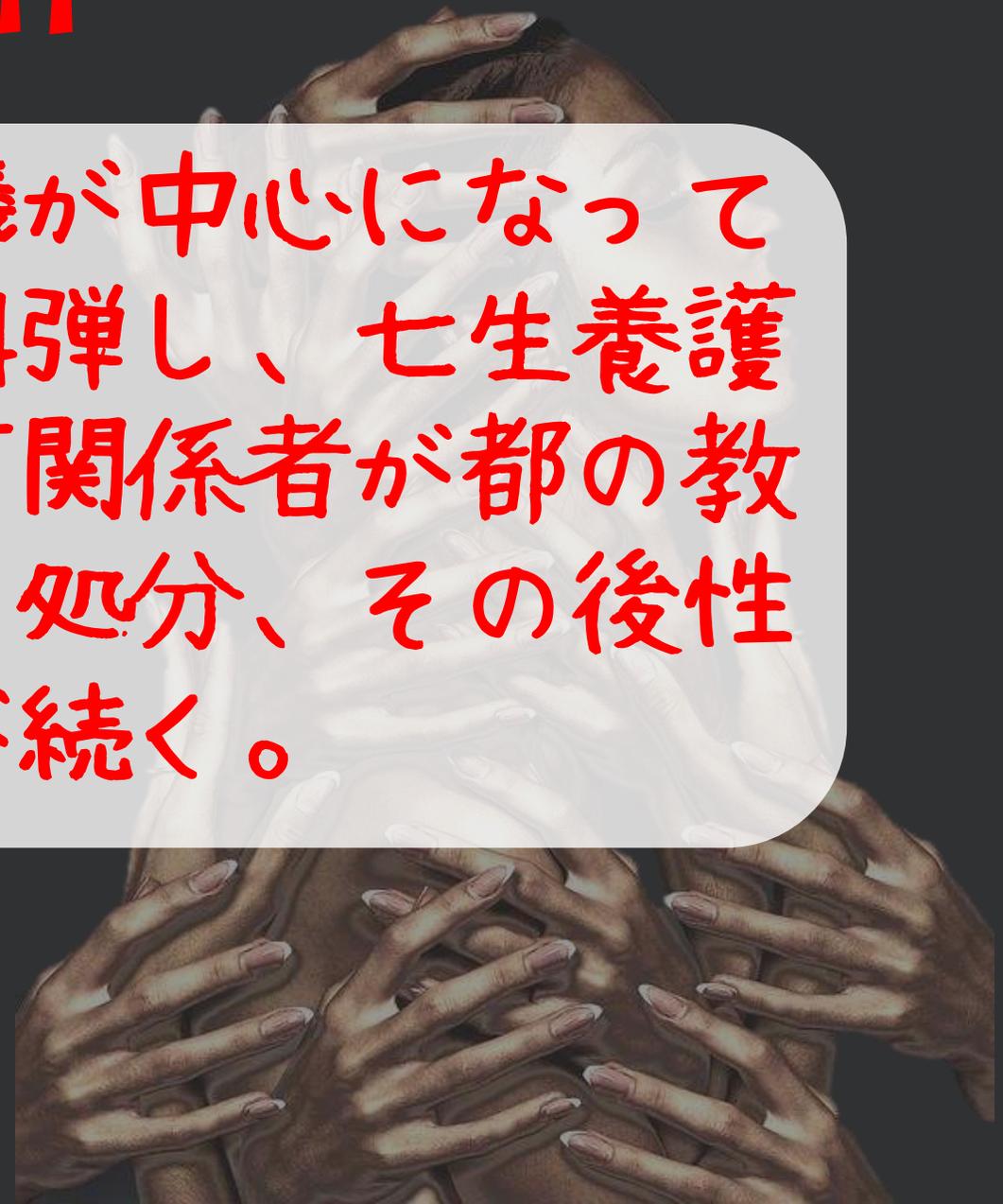
学習指導要領が改訂・施行されて、小学校から性を本格的に教えるようになった。

## ・ 2003年

都立七生養護学校事件

# 七生養護学校事件

一部保守系の都議が中心になって過激な性教育と糾弾し、七生養護学校に関わる教育関係者が都の教育委員会によって処分、その後性教育バッシングが続く。



2004年；東京都教育委員会が性教育の手引きを改訂。文科省の定める学習指導要領も、中学校で「性交」「セックス」は扱わないことになった。

2013年；最高裁で教員らの実質的な勝訴が確定。都議および教育委員会が教育の自主性を阻害し、不当な支配を行ったと認定された。

性教育にも明るい日差しが見えるかのように思えました

学校での性や月経に関する教育は  
どうなっているか

- 性感染症について

新しい学習指導要領は？



# 性感染症について



## 新編 新しい 保健体育

東京書籍

中学校の  
保健体育の教科書

① そのほか、尖圭コンジローマ、梅毒などがある。

リンク

・P.138 | エイズの予防

② 性器ヘルペスウイルス感染症の場合は、感染者の70～80%は発病しない。

資料 1

主な性感染症

## 若い世代へ広がる

### 性感染症

① 性感染症の病原体は、感染者の精液、膣分泌液、血液などに含まれ、性的接触などによって、性器の粘膜や、皮膚の傷口などから感染します。

性感染症は、感染していても発病しない場合や、発病しても自覚症状がほとんどない場合があります。② したがって、本人が感染に気づかないうちに、性的接触によって、ほかの人に感染を広げる危険性があるのです。近年は、10代で感染する人も多く、低年齢層への感染の拡大が心配されています。

性的接触？

## 性感染症の予防

性感染症は、自然に治ることはありません。専門医の治療を受け

ないで放置していると、尿道や子宮、卵管などに炎症を起こし、不妊症や子宮外妊娠の原因になります。また、性感染症に感染している母親から胎児へ感染し、流産や早産などの原因になることもあります。このように、性感染症は、本人だけの問題ではなく、次世代にも大きな影響を及ぼすのです。

性感染症の予防には、感染の危険がある性的接触を避けること、コンドームを使用することなどが有効です。

⑥泌尿器科、婦人科、皮膚科で検査や治療を受けることができる。また、感染の疑いがある相手も、検査や治療を受ける必要がある。

D <http://www.jfshm.org/>  
性の健康医学財団



④卵管の炎症などが原因で、子宮ではなく卵管などに受精卵が着床する。受精卵が成長すると、卵管が破裂して生命に関わることもある。

他人の粘膜や皮膚と直接接すること

膣内性交、肛門性交、オーラルセックス、膣や肛門を触る、すまた、キス、乳首をなめる

学校での性や月経に関する教育は  
どうなっているか

- 避妊について

新しい学習指導要領は？



# 現代高等保健体育 (大修館書店)

## コンドームと低用量ピルの特徴

	コンドーム	低用量ピル
使用方法と留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 男性の陰茎が勃起状態になってから、性交前に装着する。装着時には、精液だめの空気を抜く。</li> <li>● 袋の切り口や爪によってコンドームが傷つくと、使用中に敗れることがあるので注意する。</li> <li>● 比較的容易に購入でき、比較的安価である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 女性が、28日を1周期として21日間服用し、7日間服用を休止する。</li> <li>● 長期間の使用が可能だが、服用を忘れると避妊効果が期待できない。</li> <li>● 購入には婦人科の診察を受けて処方箋を出してもらう必要がある。検査費用も含めるとやや高価である。</li> </ul>
性感染症に対する予防効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 効果がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 効果がない。</li> </ul>
副作用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 使用開始初期に、気持ちが悪くなる、吐く、めまい、乳房が張る、体重が増える、頭痛、性器からの出血などの症状が出ることもある。</li> </ul>



基礎体温や月経周期から妊娠しない日を選んで性交する方法は、周期が変動しやすいため避妊効果は低いといえる。

**避妊以外のピル  
の様々な効果**

**子宮内膜症  
の予防・治療**

**月経周期  
を整える**

**月経痛を  
緩和**

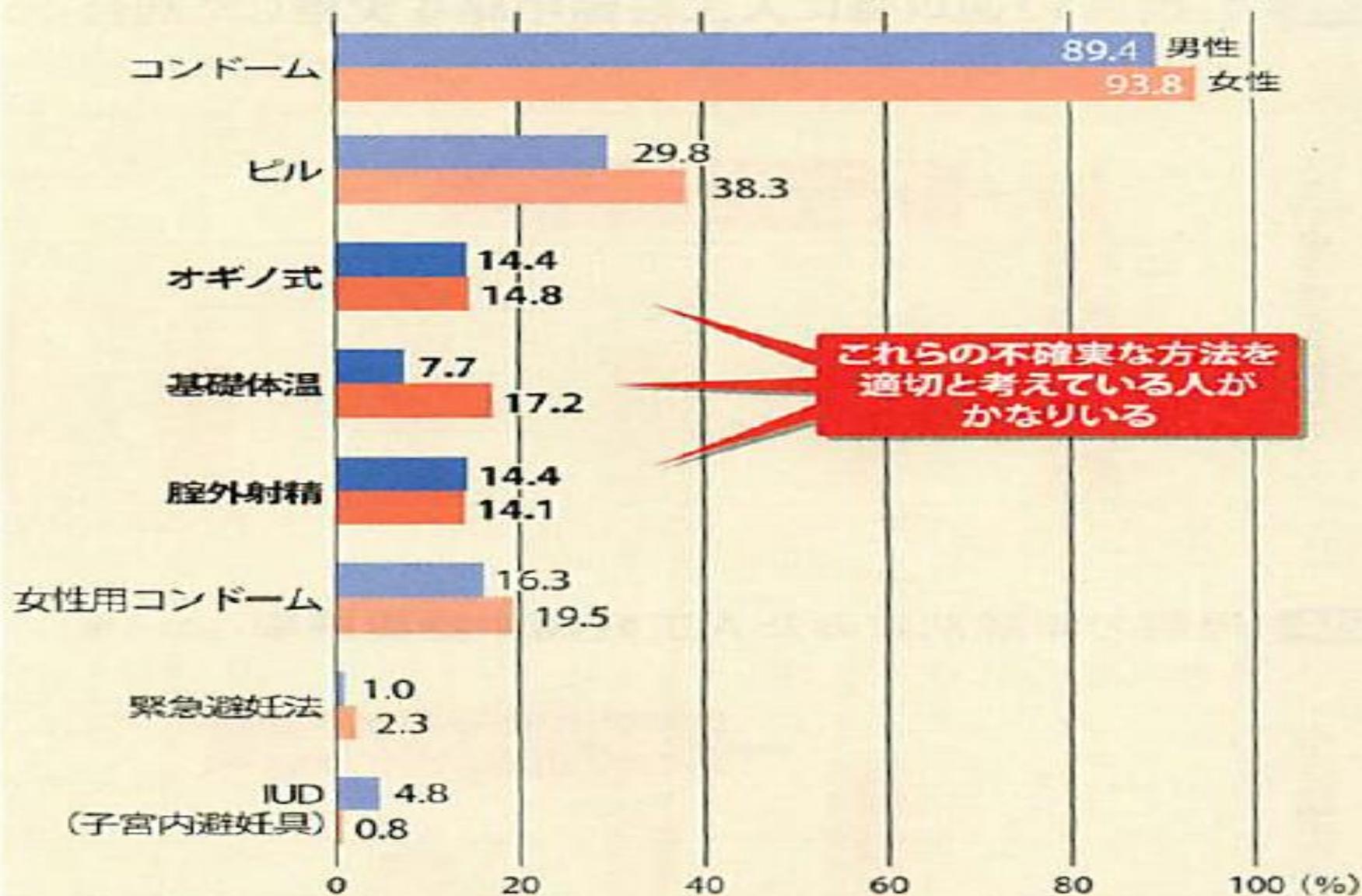
**吹き出物  
や多毛の  
改善**

**貧血の  
改善**

**月経前症候  
群の改善**



図2 適切と考えている避妊法



16~24歳の未婚の男女にたずねた結果である。オギノ式：女性の排

2 **避妊法の選択** 避妊にはさまざまな方法がありますが、安全で確実な避妊法を選ばなくてはなりません①。代表的なものとしては、**コンドーム**と**低用量ピル**④があります**表1**。コンドームは、性交の際に陰茎に装着し、<sup>ちつ</sup>腔内に精液を入れないようにすることで避妊をおこない、低用量ピルは、女性ホルモン②を調節して**排卵**をおさえるなどして避妊をおこないます**図1**。コンドームは、装着のタイミングや使用後の処理をまちがえると避妊効果が期待できません。低用量ピルは、女性の意志で使用することができますが、長期間忘れずに服用しなくてはならないという面もあります。

正しい装着のタイミングや  
使用後の処理は？

- 10 避妊しない場合には、たった1回の性交でも妊娠することがあります。「いますぐ妊娠したい」という場合以外は、必ず避妊すべきです。避妊は、男性にとっても、女性にとっても重要な問題であり、おたがいの**理解と協力**が不可欠です。2人でよく話しあい、安全で確実な方法を選ぶ  
15 必要があります。望まない妊娠の多くは、雑誌やインターネットで広がる不確実な性に関する情報を信じたり、<sup>みずか</sup>自らの精神的な未熟さから性的な欲求や快感を優先したりした結果、確実な避妊がおこなわれなかったために起こっています **図2**。

安全で確実な避妊法とは？

# 緊急避妊ピルを知っている

高校生

22.6%

大学生

43.9%

出典：若い男女の結婚・妊娠時期計画支援に関するプロモーションプログラムの開発に関する研究2014年

# 緊急避妊法

72時間以内の  
避妊が可能。

飲み薬

産婦人科で処方  
(5000～  
16000円)

あくまでも緊急法で普段には使いません

**万が一レイプ被害などに  
逢ってしまった  
場合は。。。**

**シャワーなどを浴びず  
にすぐ警察に連絡する。**

学校での性や月経に関する教育は  
どうなっているか

- 月経痛など月経随伴症状について

新しい学習指導要領は？



**小学生**：3・4学年で「思春期の体の変化」のところで、男女の特徴、初経・精通など、個人差があるものの大人の体に近づく現象であることを理解できるようにする。

**中学生**：「心身の機能の発達と心の健康」のところで、思春期は身体的には生殖に関わる機能が成熟し、男子では射精、女子では月経がみられ妊娠が可能となることを理解できるようにする。精神的には自己形成の時期であることを学ぶ。

**高校生**：ピルについては家族計画で取り上げられ、緊急避妊ピルについては教科書ではなく図説に掲載されている。

月経随伴症状および  
その対応については  
保健の授業では取り  
上げられない。



# 性に関する子供たちの現状と課題

- 性について学ぶことは恥ずべきことではなく、女性の月経や妊娠、男性の射精についてなどの異性の体の仕組みを理解して、互いに理解しあえるようにするべき。
- 性について具体的な知識をわかりやすく、実際に使えるようなレベルで学べる機会を持つ。

# 世界での性教育事情

## ・ 国際基準（ユネスコ）

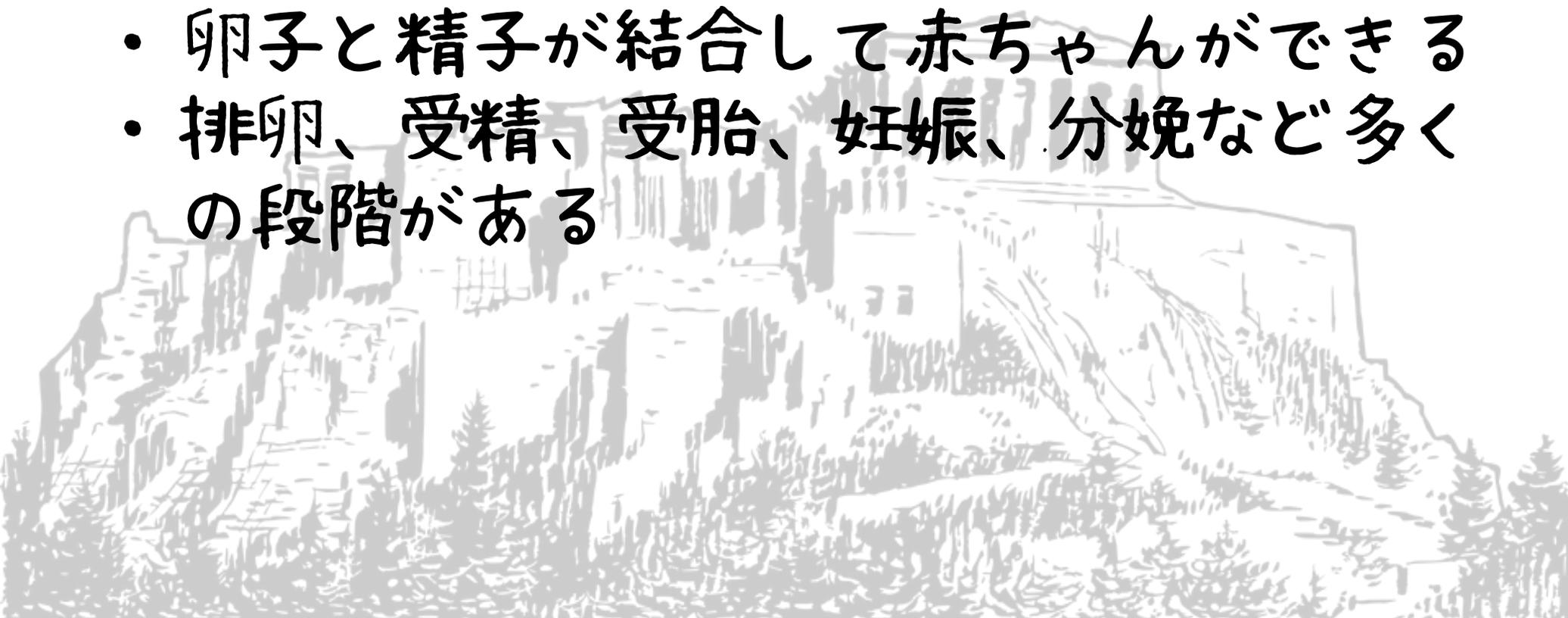
2009年に国連教育科学文化機関（ユネスコ）はWHOと協力し、「国際セクシュアリティ教育ガイドランス」を発表。2018年1月に改訂版が出る。

国際基準（ユネスコ）

レベル1（5～8歳）

赤ちゃんがどこから来るのか説明

- 卵子と精子が結合して赤ちゃんができる
- 排卵、受精、受胎、妊娠、分娩など多くの段階がある



# 国際基準（ユネスコ）

## レベル2（9～12歳）

### 妊娠の過程、避妊方法の確認

- 無防備な性交は、妊娠やHIVなど性感染症にかかる可能性がある
- 常にコンドームや避妊具を正しく使用すると、意図しない妊娠や性感染症を防げる
- 低年齢での結婚、妊娠、出産には健康上のリスクがある
- HIV陽性の女性も健康に妊娠でき、赤ちゃんへの感染リスクを減らす方法がある

国際基準（ユネスコ）

レベル3（12～15歳）

妊娠の兆候、胎児の発達、分娩  
過程の説明

- 妊娠は検査で判定できる兆候や症状がある
- 妊娠中の栄養不足、喫煙、アルコールや薬物使用は胎児の発達へリスクがある

国際基準（ユネスコ）

レベル4（15～18歳）

生殖、性的機能、性的欲求の違い  
を区別する

- パートナーとの性的な関係で、双方の合意はいつも必要
- 意図しない妊娠や性感染症を防ぐ方法を事前に考えることが必要
- すべての人に生殖能力があるわけではない。不妊に取り組む方法がある

# 世界での性教育事情

世界中の多くの国では  
ユネスコの国際基準に  
則って性の健康教育を  
行っています。

## 何が性暴力かを教える

→性暴力加害者も被害者も作らない

## 被害にあったらどうすればよいか

→泣き寝入りを防いで、  
自己肯定感の低下を防ぐ

## いつから教えるか？

→幼少期から

**小学校4～5年生から性に対しての恥ずかしさが生まれるので、それまでに性の話をしておかないと、伝えにくく、子供も受け取りにくくなってしまふ。。**

**性虐待被害は  
小学校低学年で  
すでに  
始まっている  
ケースもある**

**性被害に遭った後、すぐ受診する  
女性の方が少ない。 →すぐ**

**どのような状況の場合に警察に届  
けるべきなのかが分からない  
→プライベートゾーンを侵害され  
た時**

**誰に相談すればよいのかがわから  
ない。 →警察または児童相談所**

# 各国の性交同意年齢

## ・ アメリカ

州によって異なる（例：ミシガン州は16歳未満、ニューヨーク州は17歳未満、カリフォルニア州は18歳未満）。

・ イギリス：16歳未満

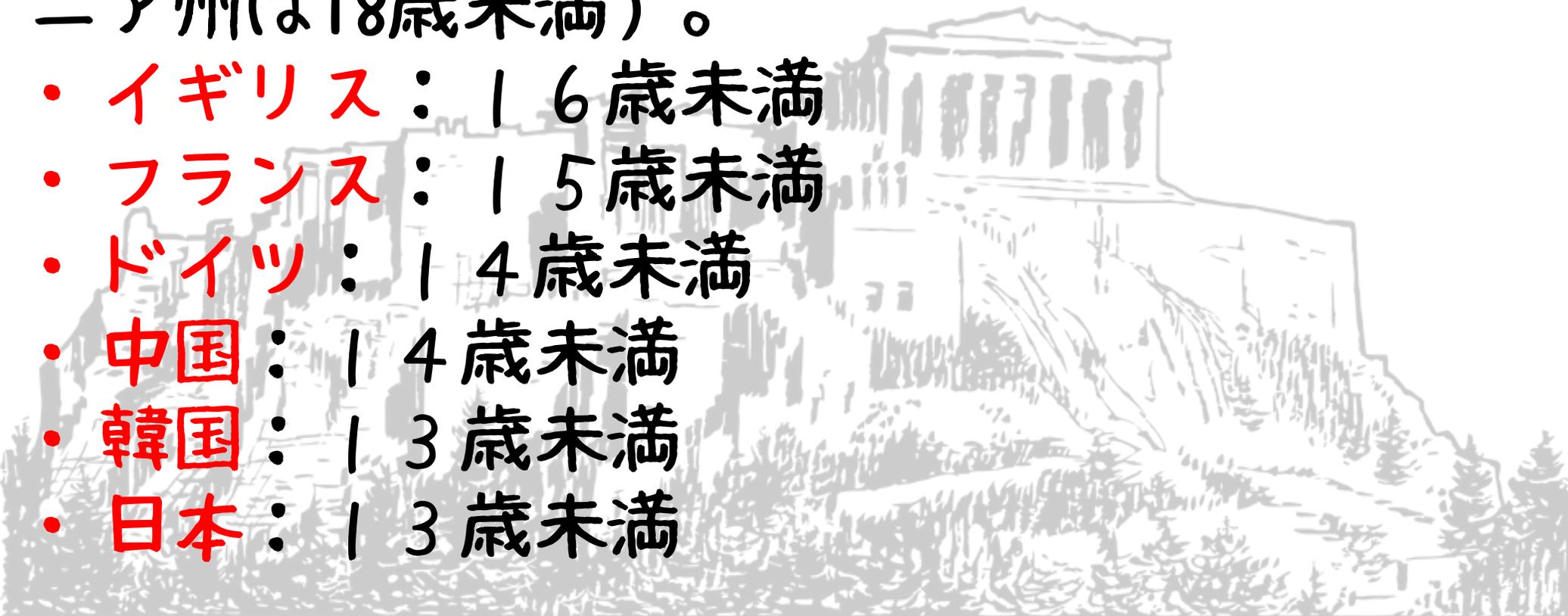
・ フランス：15歳未満

・ ドイツ：14歳未満

・ 中国：14歳未満

・ 韓国：13歳未満

・ 日本：13歳未満



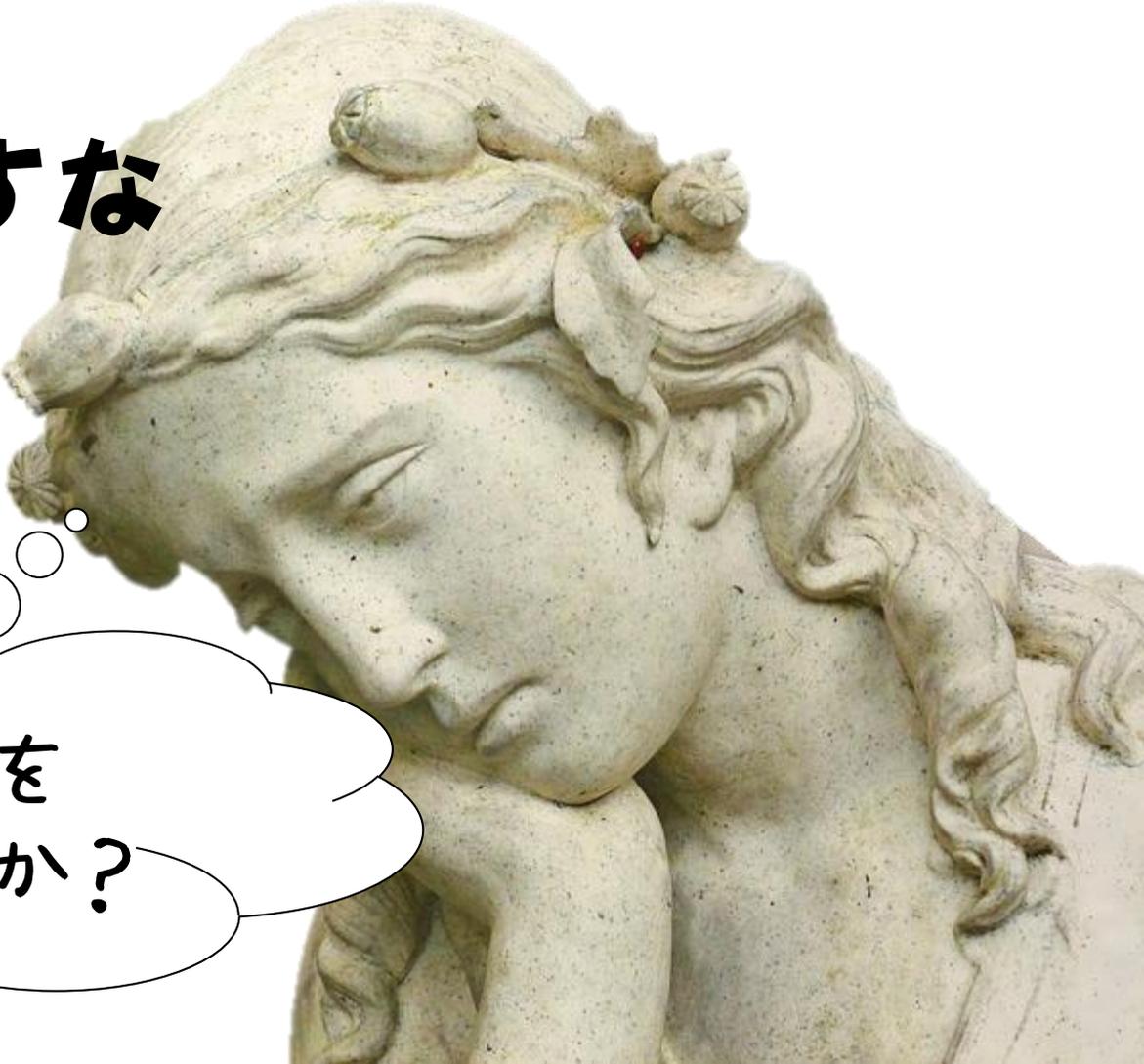
**性交同意年齢が13歳と言われながらも、学校教育では性については教えられていない。**

**今はまだ被害者が泣き寝入りをするケースがほとんど。。。**

**だから適切な性教育が必要なのです。**

# 教える必要はない

- 寝た子を起こすな
- 自然にわかる



性教育は寝た子を  
起こすのでしょうか？

エデュカチオ!

恋愛と性

# 科学的な性教育を行った場合 初めてセックスをする年齢

NHK  
Eテレ

早まった 0%

遅くなった 37%

特に変化なし 63%

正しい知識を身につけた子どもは  
慎重に行動するようになる

(2009 国連)

平成26年2月22日放送「エデュカチオ!」(Eテレ)より

刑法では、「性行為に同意する能力がある」とみなされる年齢（性的同意年齢）は、13歳とされている。それならば13歳までにプライベートゾーンや性行為の仕組みや影響について伝えるのが大人の側の責任。または性的同意年齢を引き上げる必要がある。

警察庁科学警察研究所が1997~98年、  
強姦や強制わいせつの容疑で逮捕された  
553人に行った調査

**33・5%**

「AVを見て自分も同じことを  
してみたかった」と回答

少年に限れば、その割合は  
**5割近く**に跳ね上がる。



**ポルノへの若年者の  
アクセスを難しくする  
(フィルター、年齢制限)**

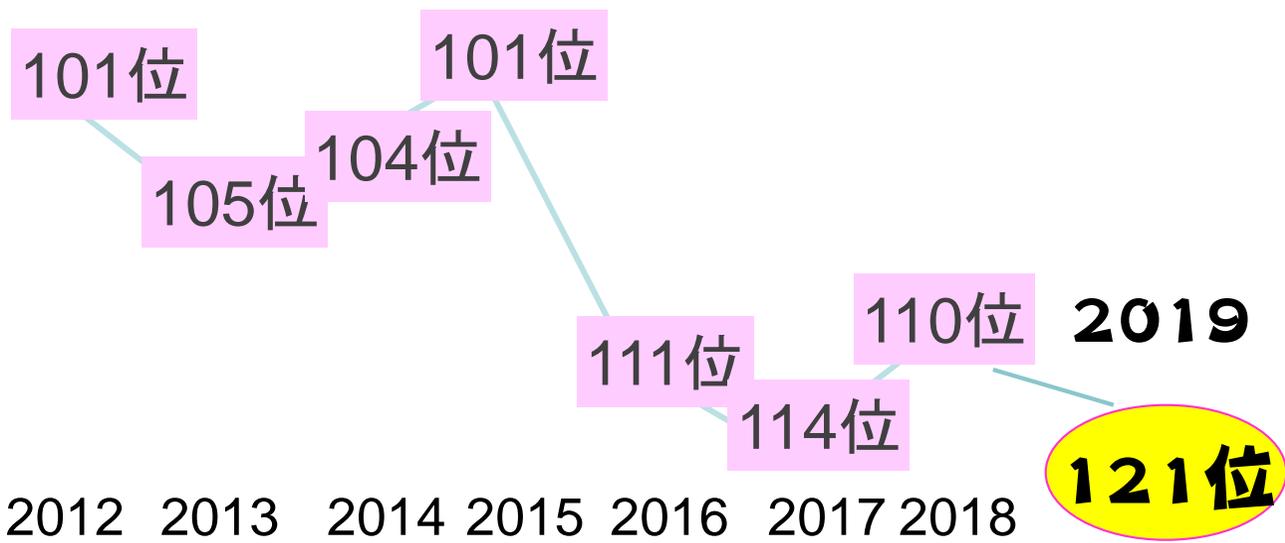


## 男女平等ランキング

前年	今年	主な国の抜粋
1	→ 1	アイスランド
2	→ 2	ノルウェー
4	↑ 3	フィンランド
3	↓ 4	スウェーデン
5	→ 5	ニカラグア
7	↑ 6	ニュージーランド
9	↑ 7	アイルランド
29	↑ 8	スペイン
⋮		
51	↓ 53	米国
⋮		
103	↓ 106	中国
⋮		
115	↑ 108	韓国
⋮		
110	↓ 121	日本
⋮		
149	↓ 153	イエメン
(最下位)	(最下位)	

「健康と生存率」、「教育」、「経済活動への参加と機会」、「政治への参加」の4つの領域で見た男女間の格差

## 日本のジェンダーギャップ指数はG7で最低



**男尊女卑指向が刷り込まれた  
社会では認知のゆがみが  
是正されず加害者は  
生産され続ける**



**インターネット、スマホ、アダルトビデオ  
週刊誌、マンガ、ファッション雑誌等々**

**ほとんど、女性を無視した男性目線の情報**

**私たち大人は間違っ  
た情報を野放しに  
しています**



**正しい性の知識を  
教えることは  
大人の責任**

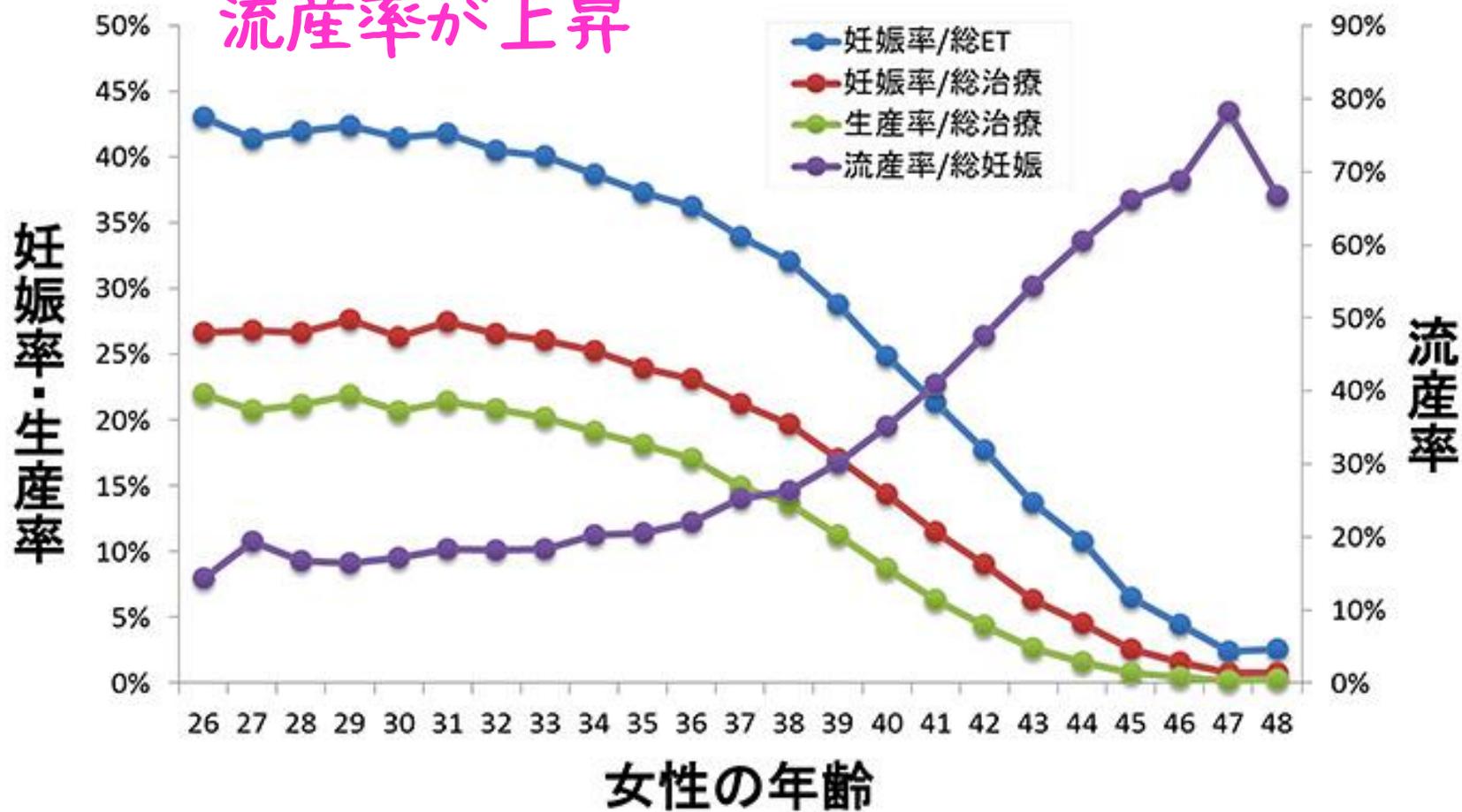
- 性のタブー視を改善し、学習指導要領の改革・変更を！
- 指導方法を充実させるために、外部講師として助産師・医師らの専門家や思春期ピアカウンセラーを派遣する団体を公的に推薦したり、資金面での援助を！
- 教員志望のすべての学生に、リプロダクティブヘルス・ライツについての授業を受けて、学ぶ機会を増やす

## (4) 性教育以外にも必要な事

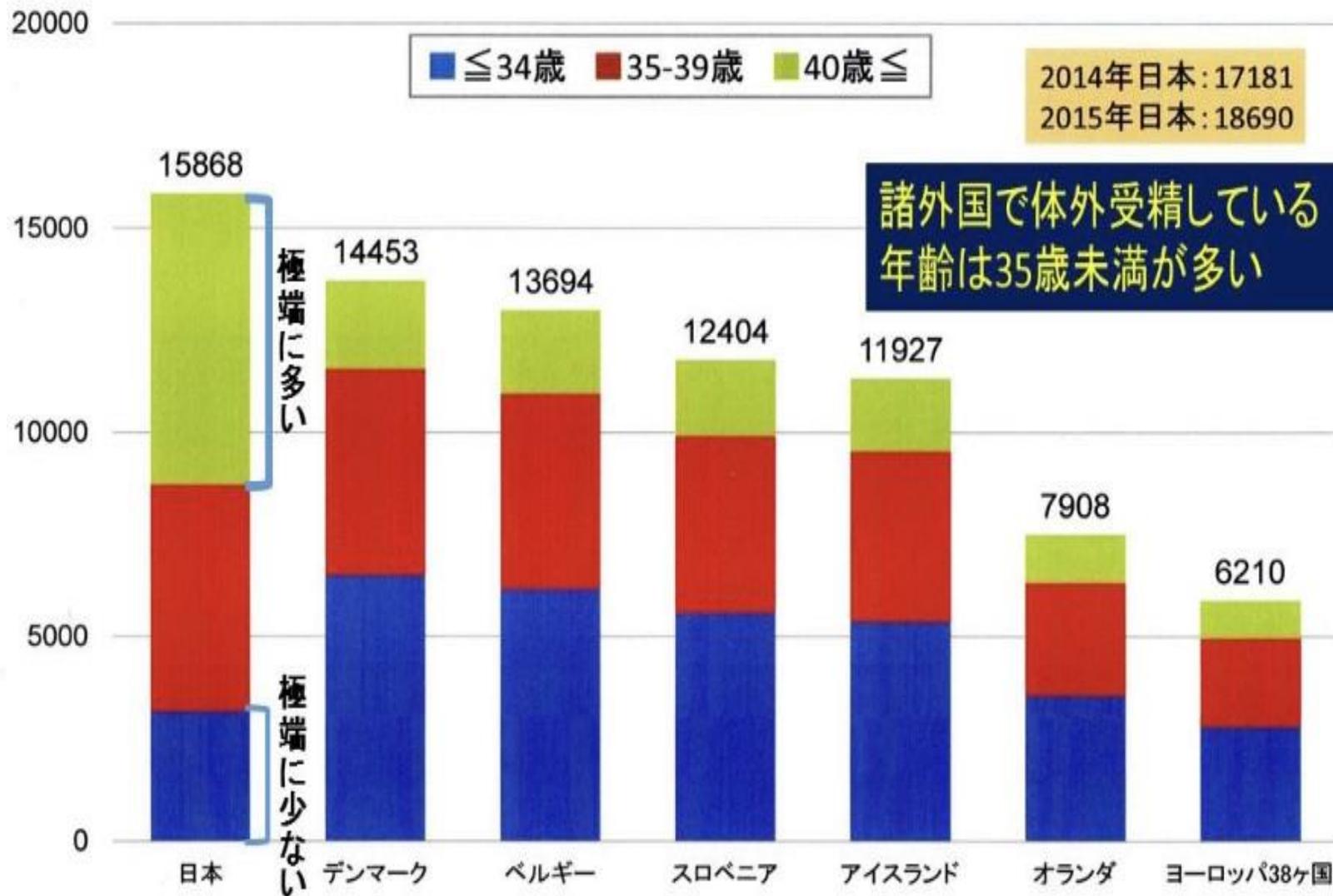
- 10代のうちに「妊娠・出産には適齢期がある」ことや「自分及びパートナーの妊娠・出産・育児」について学ぶ機会を持つ。
- それを踏まえたライフプランニングを立てる。

# 体外受精・顕微授精による妊娠・生産率

35歳以降では妊娠率が減少  
流産率が上昇

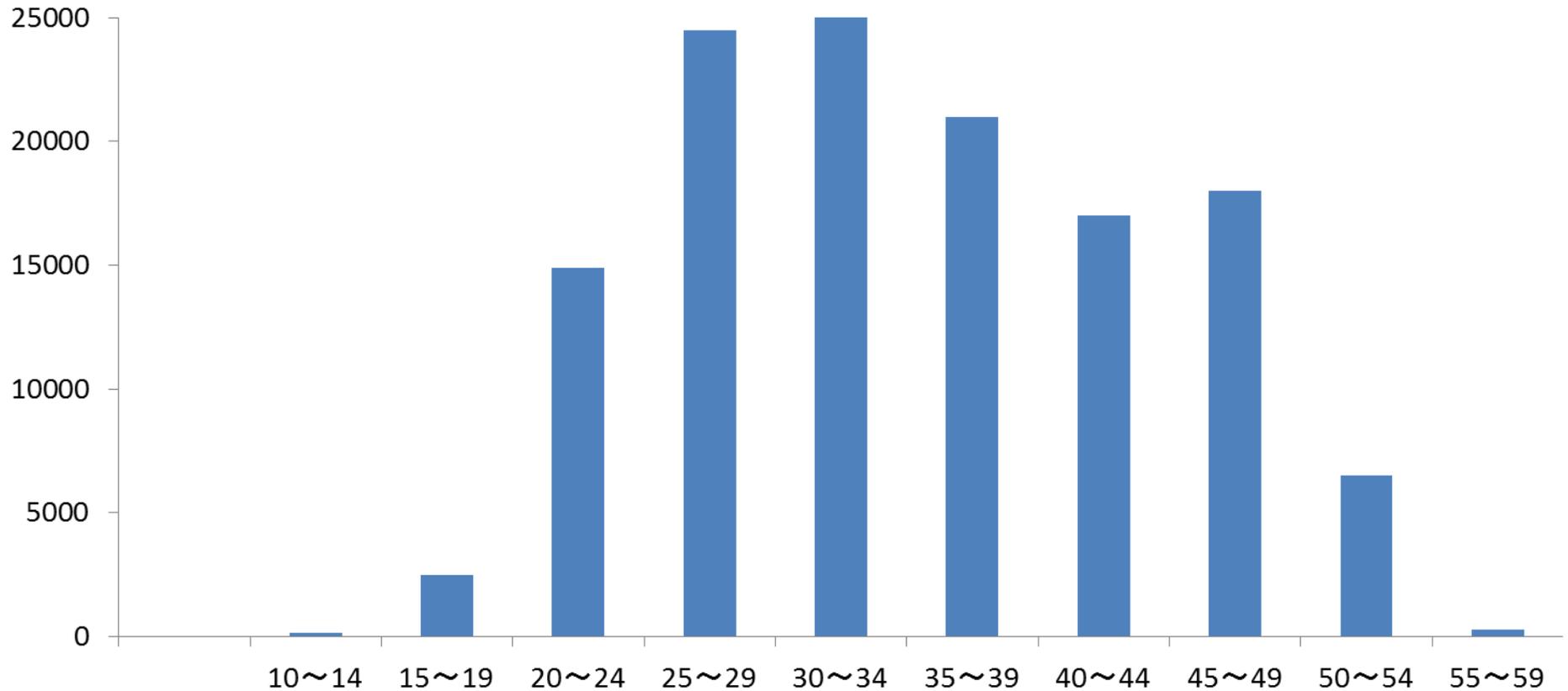


# 15-45歳の女性人口100万人当たりの総治療周期数の比較 (2013年)



子宮内膜症の30～50%の  
患者さんが不妊であり  
逆に不妊の女性の25～  
50%に子宮内膜症が存在  
すると言われています。

# 子宮内膜症の推定数



平成9年度厚生省心身障害研究報告書

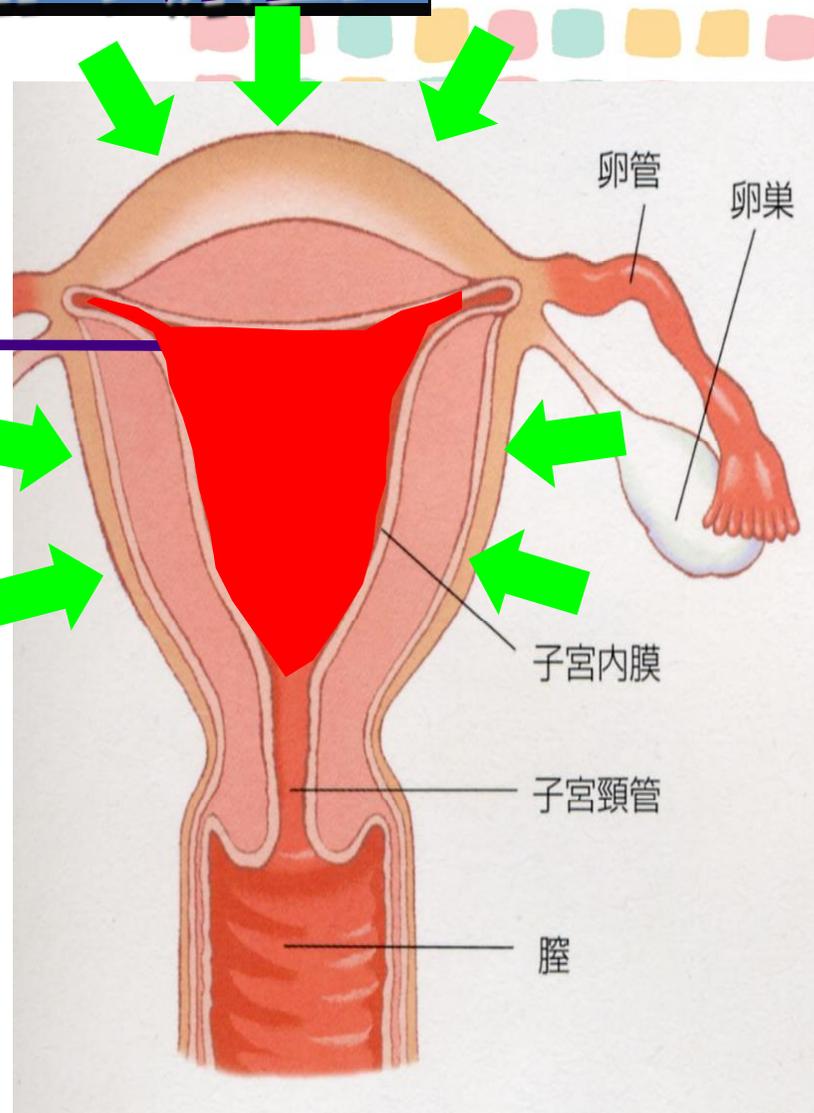
リプロダクティブヘルツからみた子宮内膜症の実態と対策に関する研究より

# 若い女性の月経痛の原因

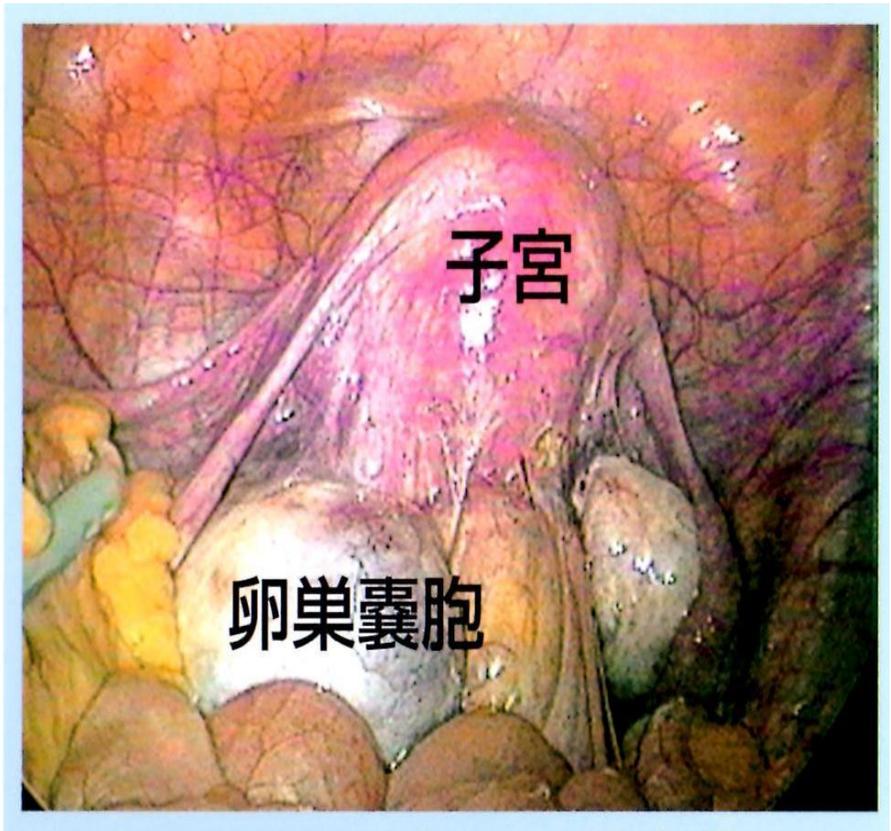
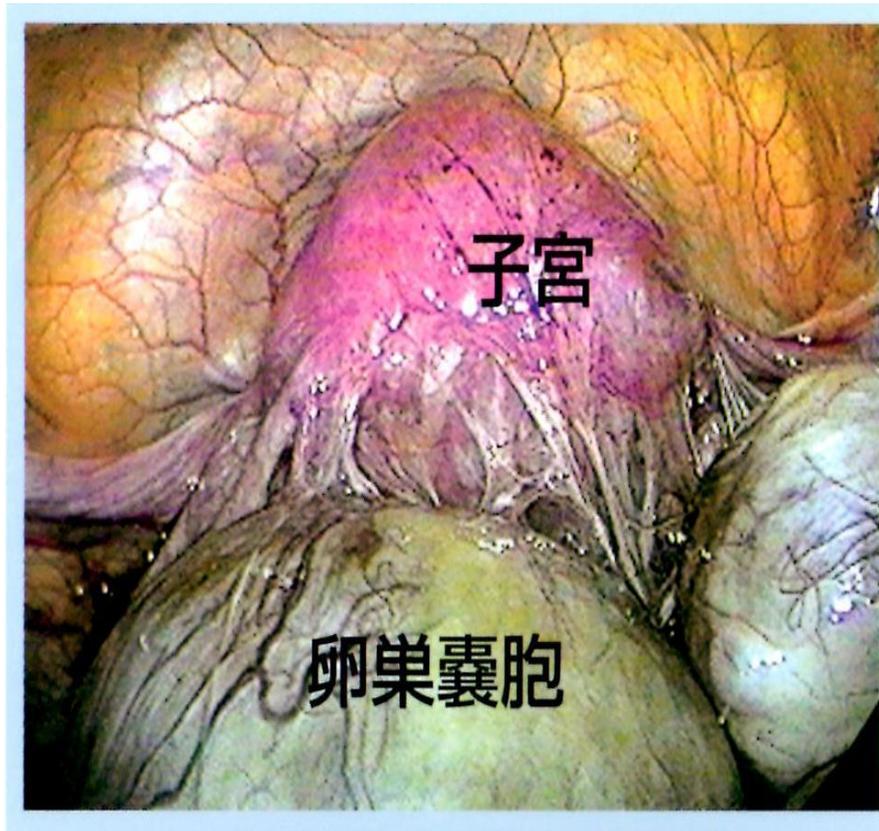
**子宮内膜**  
(子宮内壁の細胞)

適度な卵胞ホルモンで  
増殖する

溶けて月経血になる



# 子宮内膜症

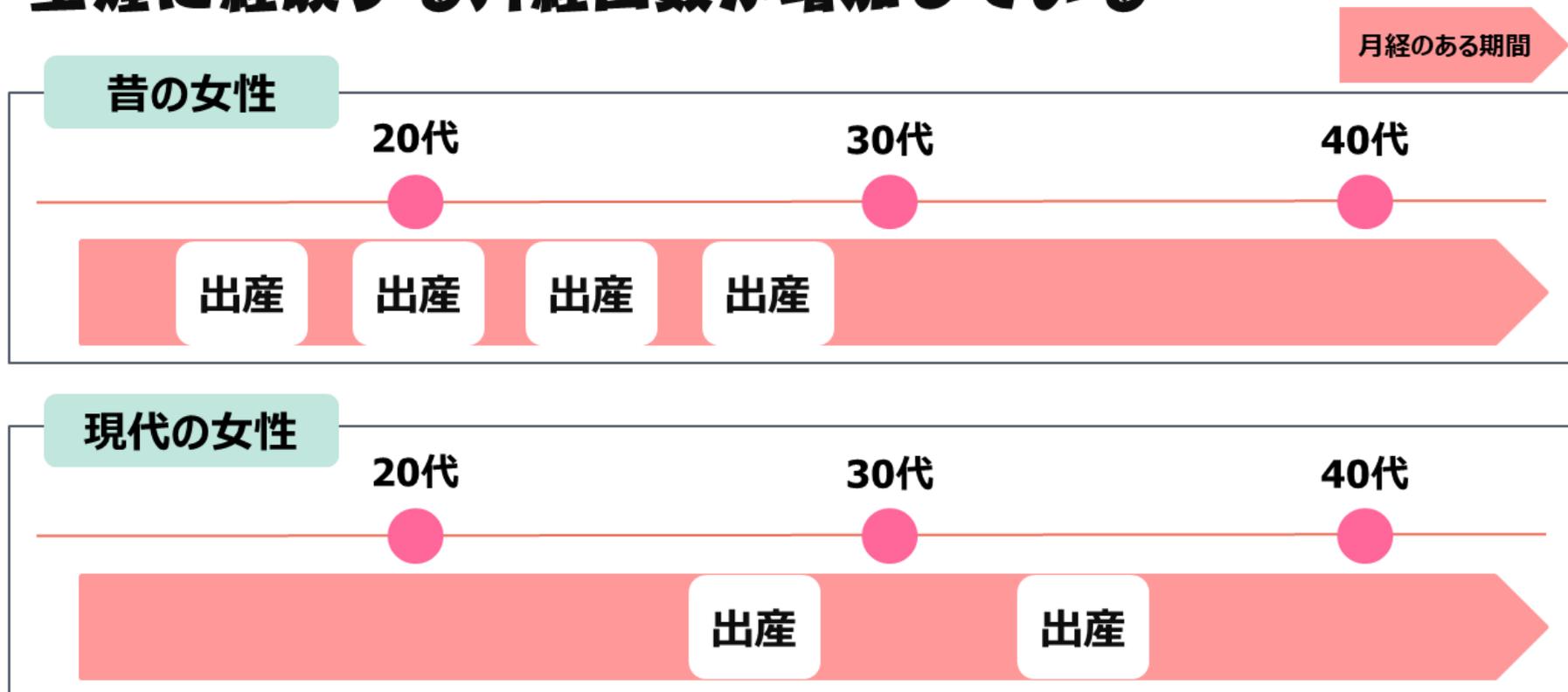


**子宮の内膜が子宮以外の場所にできてしまう病気。  
癒着がひどくなると不妊の原因になる事も。**

# ライフスタイルの変化に伴う 月経回数が増加



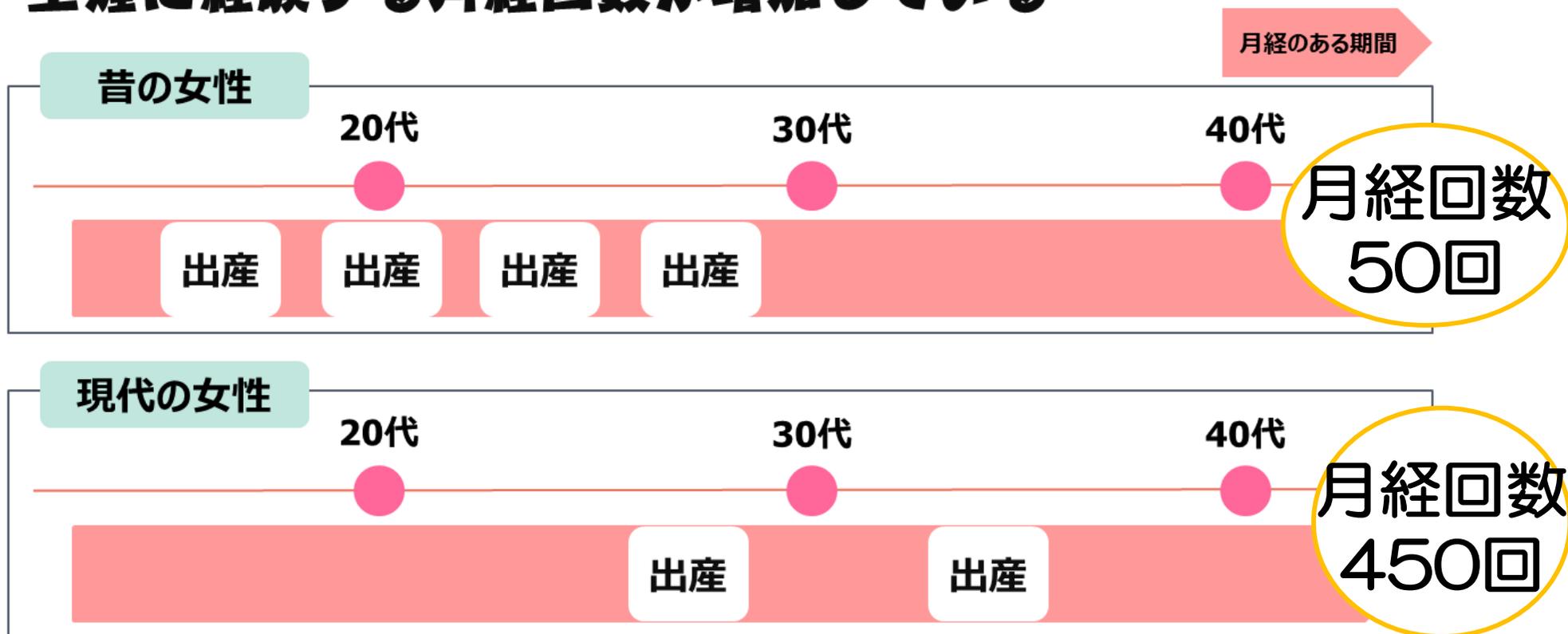
- 現代女性は、昔の女性に比べて出産回数が減ったため、生涯に経験する月経回数が増加している



# ライフスタイルの変化に伴う 月経回数が増加

約9倍！！

- 現代女性は、昔の女性に比べて出産回数が減ったため、生涯に経験する月経回数が増加している



**出産年齢が上がり  
出産回数が減った現在  
子宮内膜症になってしまう  
女性が増えています**

**避妊以外のピル  
の様々な効果**

**子宮内膜症  
の予防・治療**

**月経周期  
を整える**

**月経痛を  
緩和**

**吹き出物  
や多毛の  
改善**

**貧血の  
改善**

**月経前症候  
群の改善**



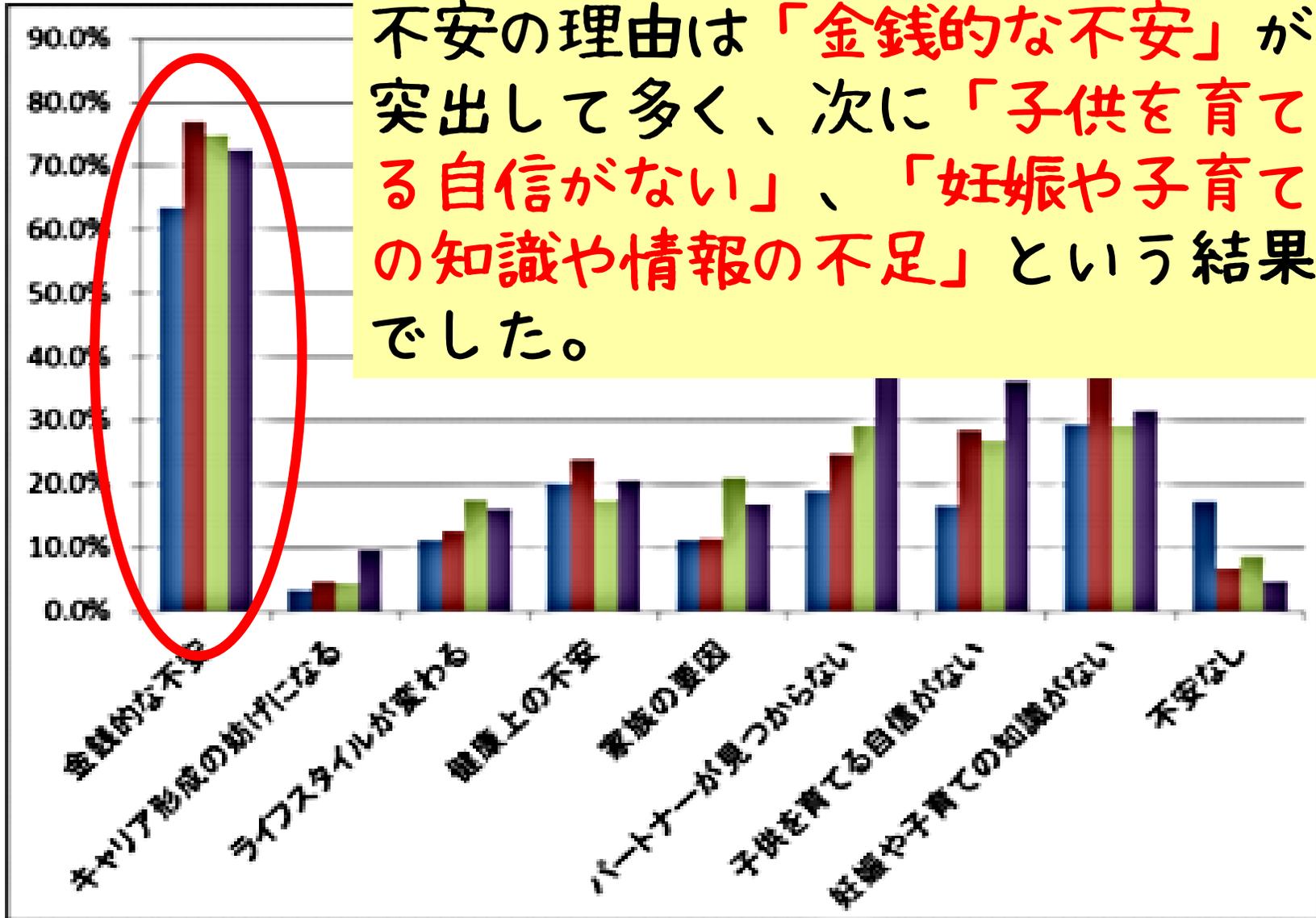
# 10代の若者の結婚・妊娠・出産感

「若い男女の結婚・妊娠次期計画支援に関するプロモーションプログラムの開発に関する研究」班  
2014年に全国の高校生1866人と大学生1,189人に対する意識調査

# 結婚、育児希望に関する 高校生・大学生それぞれの回答

	高校生		大学生	
	男性	女性	男性	女性
いずれ結婚する	72%	81%	78%	91%
将来子どもがほしい	84%	88%	86%	93%
25歳までに子どもを持ちたい	30%	50%	<b>7%</b>	<b>14%</b>

不安の理由は「金銭的な不安」が突出して多く、次に「子供を育てる自信がない」、「妊娠や子育ての知識や情報の不足」という結果でした。



Q. 女性の妊娠する能力が30歳を過ぎたころから  
少しずつ低下することを知っていますか？

	高校生		大学生	
	男性	女性	男性	女性
よく知っていた	14%	22%	30%	42%
全く知らなかった	36%	18%	11%	6%

現在の若者は将来の結婚・妊娠を希望する者が大多数であり、晩産に至るイメージを持っていない。しかし、将来の妊娠・出産・子育てについては、金銭的な不安や自信がないといった回答も多かった。

- 10代のうちに「妊娠・出産には適齢期がある」ことや「自分及びパートナーの妊娠・出産・育児」について学ぶ機会を持つ。
- それを踏まえたライフプランニングを立てる。

# まとめ



- 梅毒の増加が目立つが、今後はSNSの利用の増加とともに、他の性感染症も10代でも増加する危険性がある。
- 初交が最も多いのは17歳。性の情報はWebサイトや友人など不正確なところから得ている。
- 約6割は学校の性教育が役に立ったと考えているが、その内容については課題が残っている。

性のトラブルを未然に防ぐために  
必要なことは幼少期からの性教育。

しかし日本の性教育は世界基準に達していない。

異性の体の仕組み、より具体的に実際に使える知識、性は恥ずべきものではないことなどを子どもたちが学べる機会を増やす必要がある。

# スウェーデンのユースクリニック

ソーシャルワーカーや処方ができる資格のある助産師がいて、親に了解を取らなくても無料で性感染症の治療や避妊などの対応ができる。



学習指導要領を超えて子ども  
もたちに性の知識を伝えら  
れるような、子どもたちが  
相談できるような場所が学  
校の中にあってほしい

最後に



愛知私学研究会が2011年に愛知県内の私学の高校生に対して性に関するアンケート調査を実施してから8年経過し、毎日の私の診療で出会う患者さんたちにも様々な変化が見られるようになりました。

今回は愛知・思春期研究会と共同で、新設項目を増やしてアンケート調査を始めています。

# 新設項目

- ピル、緊急避妊ピルについての知識
  - 何歳までに子どもを産み終えたいか。
  - 不妊症の知識について
  - リストカットやオーバードーズについて
  - 性的被害について
  - マスターベーションについて
- など

# 私学以外の高校でも実施 をお願いしたいです

## 「高校生の性に関する調査」 実施後配布用解説プリント ～安心・安全・自由が感じられる人生のために大切なこと～

アンケートの御協力をありがとうございました。この調査結果は分析され、2020年初夏に性教育フォーラム（誰でも無料で参加可能）で発表予定です。私学性教育研究会と協力関係にある「愛知県・思春期研究会」のHP上で性教育フォーラムのお知らせと発表内容もアップします。

（内容解説）

- ・中谷豊実（県私学性教育研究会主任・思春期研究会共同代表）
- ・丹羽咲江（咲江レディースクリニック院長・思春期研究会共同代表）

### （設問16） 「あなたは性別に違和を感じていますか？」

→LGBTとかセクシャルマイノリティと言われることには、「性的指向」といって同性愛・両性愛といった恋愛感情がどの性に向くか、または向かないかということと、「性自認」といって自分の性をどう思っているのかという内容が含まれています。

セクシュアル・マイノリティは左ききやAB型と同じように社会で数が少ないだけで病気でも異常でもありません。社会では少数なだけで当たり前存在し40人クラスなら2人くらいは統計上にいる計算になっています。

性同一性障害は最近欧米では、性別違和に変更されつつあり、障害として捉えない方向がスタンダードになりつつあります。違和感は治療対象になりますので、違和を感じる場所だけを治療していくという考え方になっています。日本では、障害と考えているところがありますが、健康保健の適用範囲が広がっていつの間にか側面もあります。

愛知県や名古屋市も応援しているLGBT専門の無料相談ダイヤル

「レインボウホットライン」をどうぞ利用してください。

0120-51-9181（毎週月曜日 19:00～22:00）無料

### （問18～20） ピルについて

現在低用量ピルは様々な目的で使われています。

1) 避妊→コンドームは比較的安価で手に入れやすく、性感感染症を予防することもできますが、確実に使用しても2%の失敗、破れたり外れてしまったりすると15%の失敗があります。一方でピルは毎日薬を服用する必要がありますが、忘れずにきちんと服用すれば失敗は0～0.3%、3日以上連続で服用を忘れると失敗率は8%で、最も確実な避妊法です。

2) 避妊以外にも、月経痛や月経前の体調不良の治療、月経日の調整、吹き出物の治療などに使用します。

3) ピルは産婦人科で処方を受けます。飲むと強い吐き気が出たり、太ったりする、というイメージがあるかもしれませんが、最近のピルは副作用が軽減されています。ただし、

# 実施後配布用 解説プリント もついています

# 愛知・思春期研究会 HPからまたは咲江LC にご連絡下さい

愛知・思春期研究会、愛知私学性教育研究会と共同で今年春～秋ごろに性教育フォーラムでその結果を報告します。詳細は愛知・思春期研究会のHPにやがて掲載いたします。

乞うご期待ください



「静聴あげんべい」  
ぞうまじだ♪